資料2－1

令和６年度「県民健康調査」こころの健康度・生活習慣に関する調査 結果報告

１ 目　　的

こころの健康度・生活習慣に関する調査は、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の体験やこれらの災害による避難生活により、多くの方が不安やストレスを抱えていることから、県民のこころやからだの健康状態と生活習慣などを正しく把握し、一人ひとりに寄り添った保健・医療・福祉に係る適切なケアを提供することを目的としている。

２ 方　　法

⑴ 対　　象

- 平成 23 年 3 月 11 日から平成 24 年 4 月 1 日までに対象地域※に住民登録をしていた方
  （対象地域を転出後も対象とする）
- 令和 6 年 4 月 1 日時点で対象地域に住民登録をしていた方
- 上記以外で基本調査の結果、必要と認められた方

対象者数 :187,994 人（令和 7 年 10 月 31 日現在）

0 歳～3 歳用	:令和 3 年 4 月 2 日から令和 6 年 4 月 1 日までに生まれた方	1,931 人
4 歳～6 歳用	:平成 30 年 4 月 2 日から令和 3 年 4 月 1 日までに生まれた方	2,400 人
小 学 生 用	:平成 24 年 4 月 2 日から平成 30 年 4 月 1 日までに生まれた方	6,314 人
中 学 生 用	:平成 21 年 4 月 2 日から平成 24 年 4 月 1 日までに生まれた方	4,938 人
一　般　用	:平成 21 年 4 月 1 日以前に生まれた方	172,411 人

※対象地域:平成 23 年時に避難区域等に指定された市町村等
広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村、南相馬市、田村市、川俣町、伊達市の一部（特定避難勧奨地点の属する区域）

⑵ 方　　法

ア 調査票

対象者の年齢区分に応じて調査票を送付し、一般用は本人が、中学生用以下は保護者等が回答した。ただし、中学生用調査票では一部が本人回答となっている。

イ 調査票送付日

令和 7 年 1 月 28 日より順次発送

ウ 調査回答方法

郵送又はオンラインによる回答
（オンラインによる回答期間は、調査票到着日から令和 7 年 4 月 30 日まで）

⑶ 集計対象期間

調査開始から令和 7 年 10 月 31 日の回答までとした。

３　こころの健康度・生活習慣に関する調査 集計結果概要

子ども(0 歳～3 歳、4 歳～6 歳、小学生、中学生)と一般の年齢区分ごとに結果を集計した。なお、各項目に欠損値があるため、合計は有効回答数と一致しない場合がある。また、端数処理を行っているため、割合の合計が 100%にならない場合がある。

年次推移は、「新型コロナウイルス感染症の流行による生活への支障」に関する設問を除き、1 年目(または 2 年目)の平成 23 年度(または平成 24 年度)、5 年目の平成 27 年度、10 年目の令和 2 年度、令和 3 年度、令和 4 年度、令和 5 年度、当該年の令和 6 年度で図示した。

(1)子ども（0 歳～3 歳、4 歳～6 歳、小学生、中学生）の回答結果について

ア　回答者数（回答率）

令和 6 年度の子ども(0 歳～3 歳、4 歳～6 歳、小学生、中学生)の回答者数(回答率)、有効回答数(有効回答率)は表1、図1のとおりである。また、オンライン回答の割合は、0 歳～3 歳 61.2%、4 歳～6 歳 51.5%、小学生 53.7%、中学生 48.2%で、いずれも割合としては過去最高であった。

表 1　令和 6 年度　回答者数（回答率）および有効回答数（有効回答率）

年齢区分	回答者数（回答率）	有効回答数（有効回答率）
0 歳～3 歳	183（9.5）	183（9.5）
4 歳～6 歳	194（8.1）	194（8.1）
小　学　生	514（8.1）	514（8.1）
中　学　生	479（9.7）	479（9.7）
合計	1,370（8.8）	1,370（8.8）

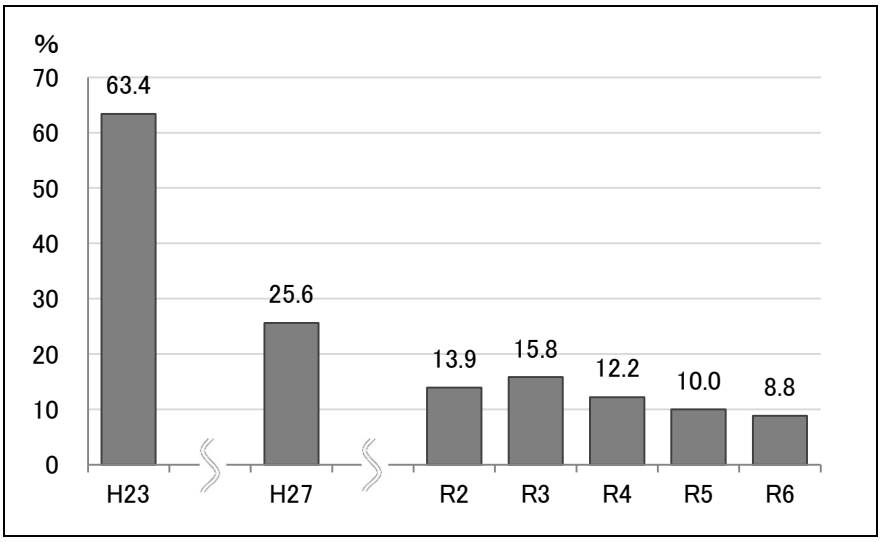


図 1　子どもの回答率の推移

イ　普段の運動頻度

令和 6 年度の普段の運動頻度について、「ほとんどしていない」と回答した子どもの割合は、2 歳～3 歳 0.0%、4 歳～6 歳 3.1%、小学生 33.3%、中学生 38.6%であった（図 2～5）。

児童生徒に対する全国調査（※1）によれば、（学校での体育授業を除く）1 週間の総運動時間が、60 分未満の割合は小学生（5 年生）の男児 9.1%、女児 16.0%、中学生（2 年生）の男子 9.7%、女子 21.8%であり、回答者や質問および回答の方法が異なるため単純な比較はできないものの、引き続き、運動頻度の経過をみていく必要がある。

※1　スポーツ庁「令和 6 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果」第 1 章調査結果の概要
https://www.mext.go.jp/sports/content/20241217-spt_sseisaku02-000039139_02.pdf

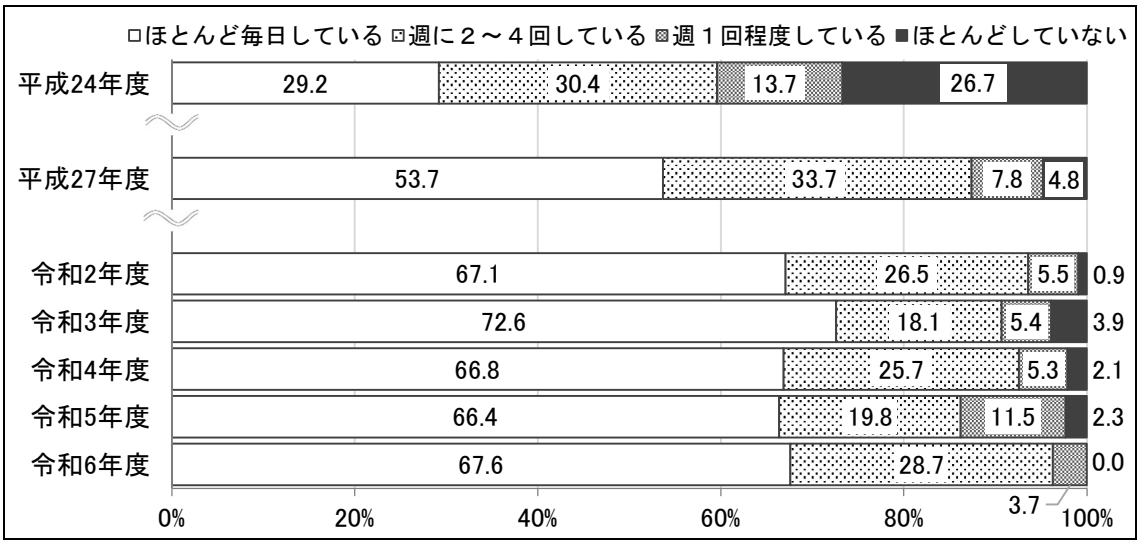


図 2　普段の運動頻度の推移　2 歳～3 歳

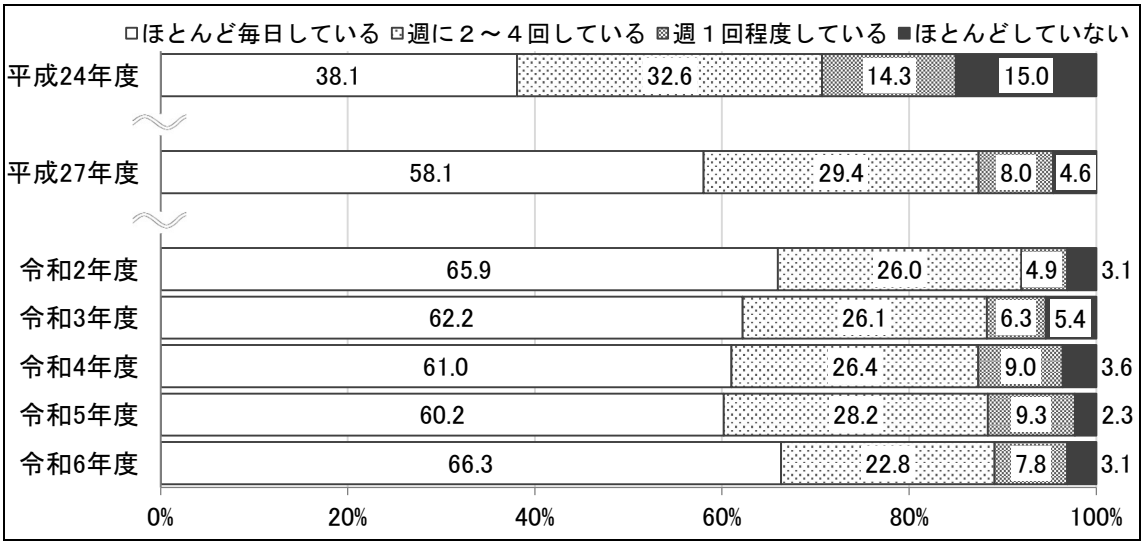


図 3　普段の運動頻度の推移　4 歳～6 歳

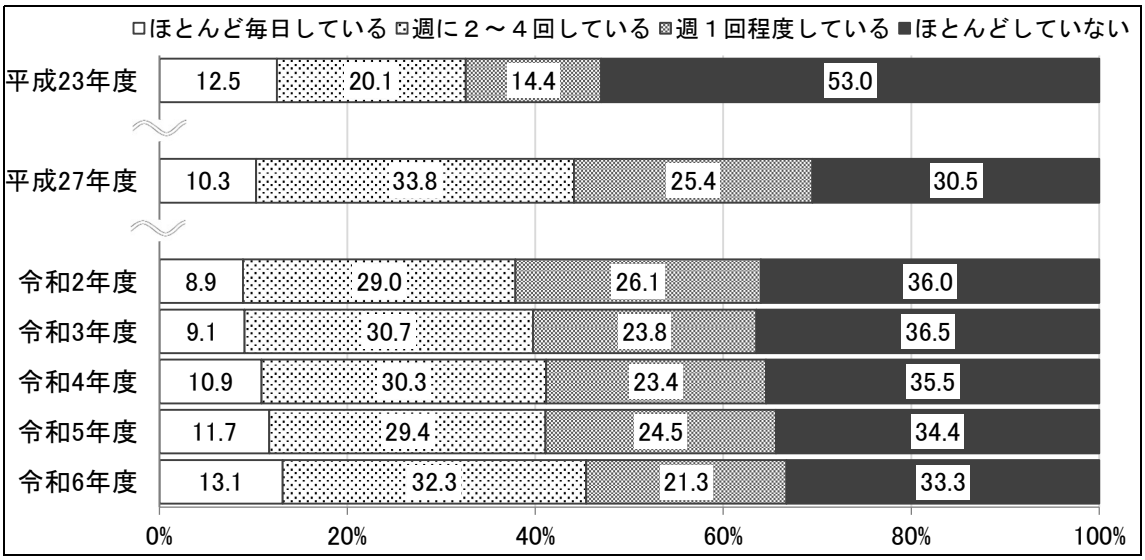


図４　普段の運動頻度の推移　小学生

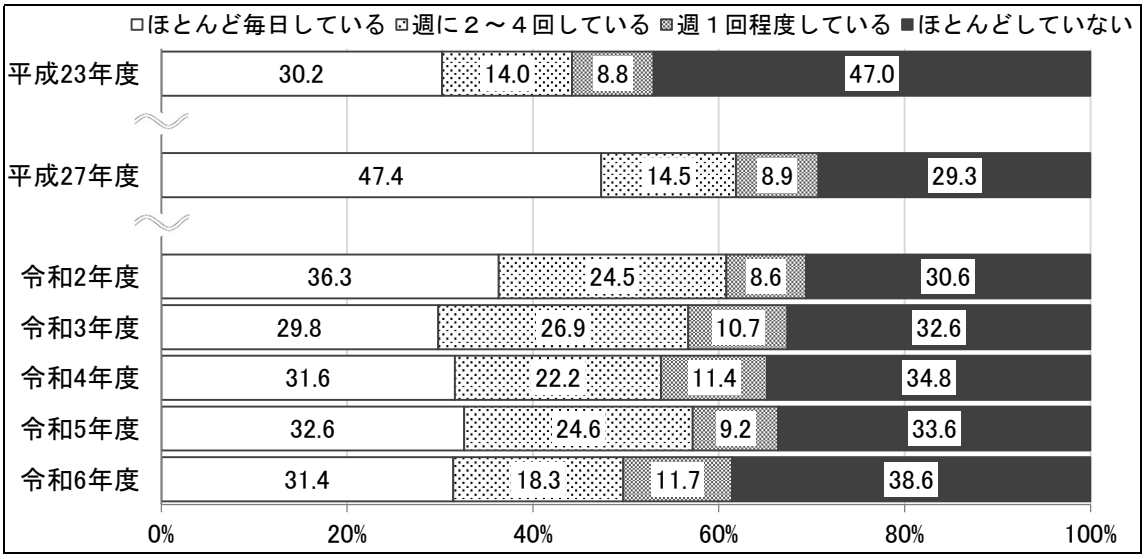


図５　普段の運動頻度の推移　中学生

ウ 情緒と行動（SDQ）16 点以上の割合

子どもの情緒と行動について SDQ（先行研究に基づきカットオフ値は 16 点）を用いて測定した。令和 6 年度で情緒や行動の問題等を有するハイリスクの子どもの割合（16 点以上）は、4 歳～6 歳 11.4%、小学生 10.6%、中学生 9.6%であった（図 6）。

被災していない子どもを対象とした調査（※2）で報告されたハイリスクの子どもの割合 9.5%に比べ、平成 23 年度はどの年代でも高く、とりわけ 4 歳～6 歳は 24.4%と高かった。その後、全ての年代で減少し、年代や年度による違いや変化はいくらかあるものの、先行研究のハイリスクの子どもの割合とほとんど変わりない程度まで改善している（図 6）。男女別は図 7～9、調査時住所別は図 10 のとおり。

【SDQ について】

子どもの情緒と行動に関する 25 項目について、それぞれ過去半年間にどれくらい当てはまるかを保護者等が回答する質問項目である。得点が 16 点以上の場合、情緒や行動の問題等を有し、専門的な支援が必要と考えられている。

※2 Matsuishi T, et al. (2008) Scale properties of the Japanese version of the Strengths and Difficulties Questionnaire (SDQ): A study of infant and school children in community samples. Brain and Development. 30: 410-415.

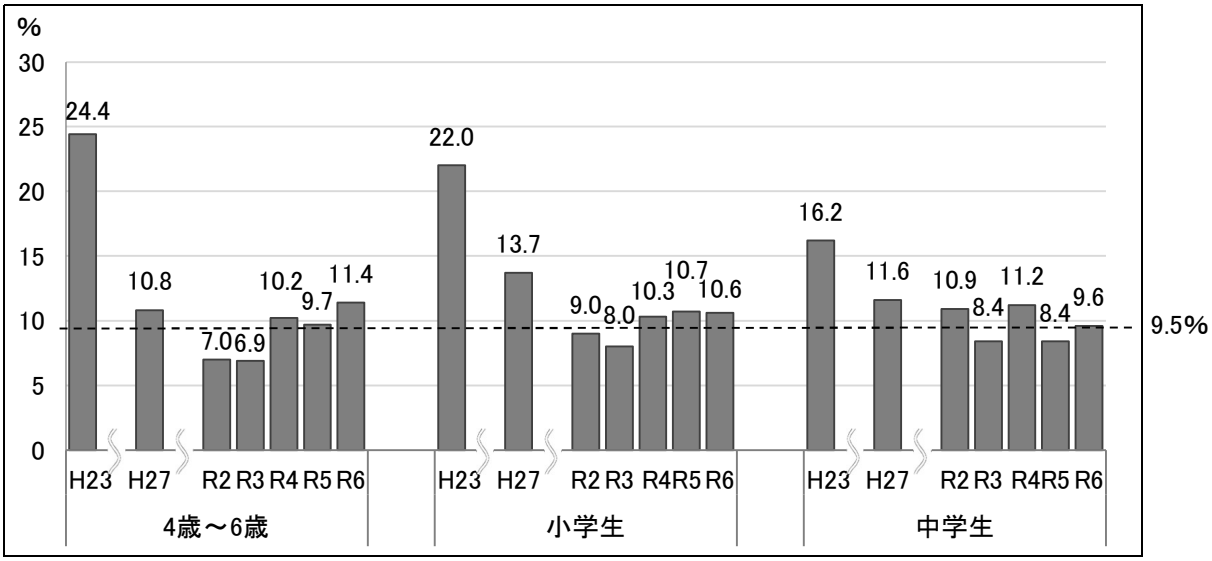


図 6　子どもの情緒と行動（SDQ）16 点以上の割合の推移　全体

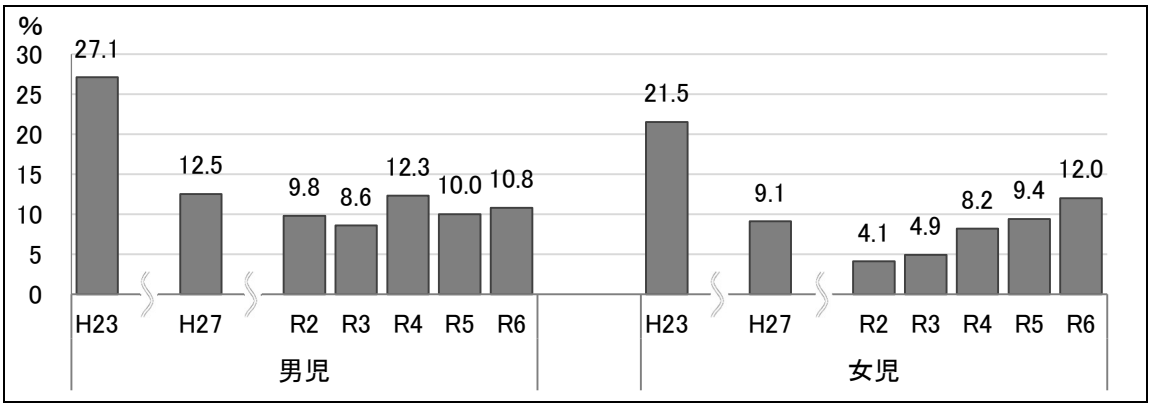


図 7　子どもの情緒と行動（SDQ）16 点以上の割合の推移　4 歳～6 歳　男女別

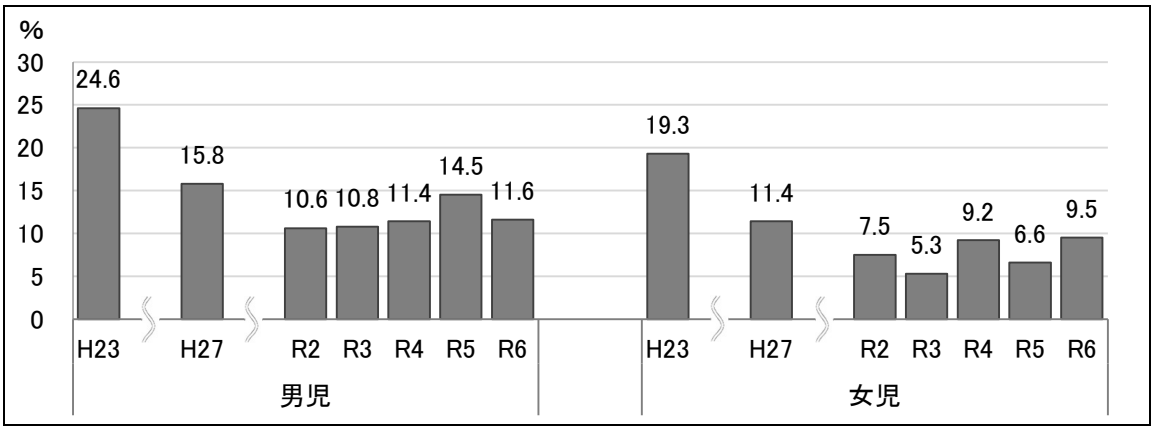


図 8　子どもの情緒と行動（SDQ）16 点以上の割合の推移　小学生　男女別

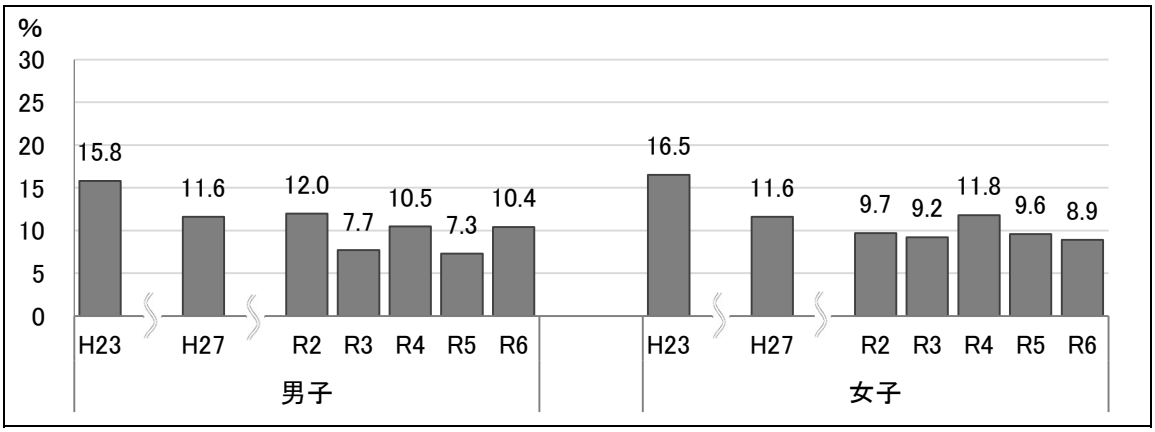


図 9　子どもの情緒と行動（SDQ）16 点以上の割合の推移　中学生　男女別

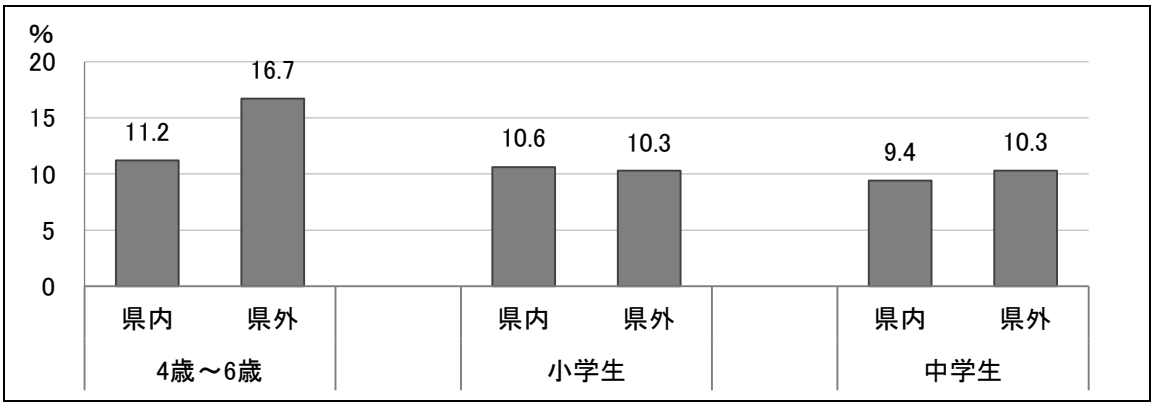


図 10　令和 6 年度　子どもの情緒と行動（SDQ）16 点以上の割合　調査時住所別

エ　新型コロナウイルス感染症の流行による生活への支障

令和６年度では、新型コロナウイルス感染症の流行による生活への支障について、「ある程度あった」または「非常にあった」と回答した子どもの割合は、0 歳～3 歳 19.1%、4 歳～6 歳 11.4%、小学生 11.2%、中学生本人 16.9%、中学生保護者※11.3%であった。全ての年代で影響を受けた子どもの割合は令和 5 年度と比べ低くなった（図 11）。

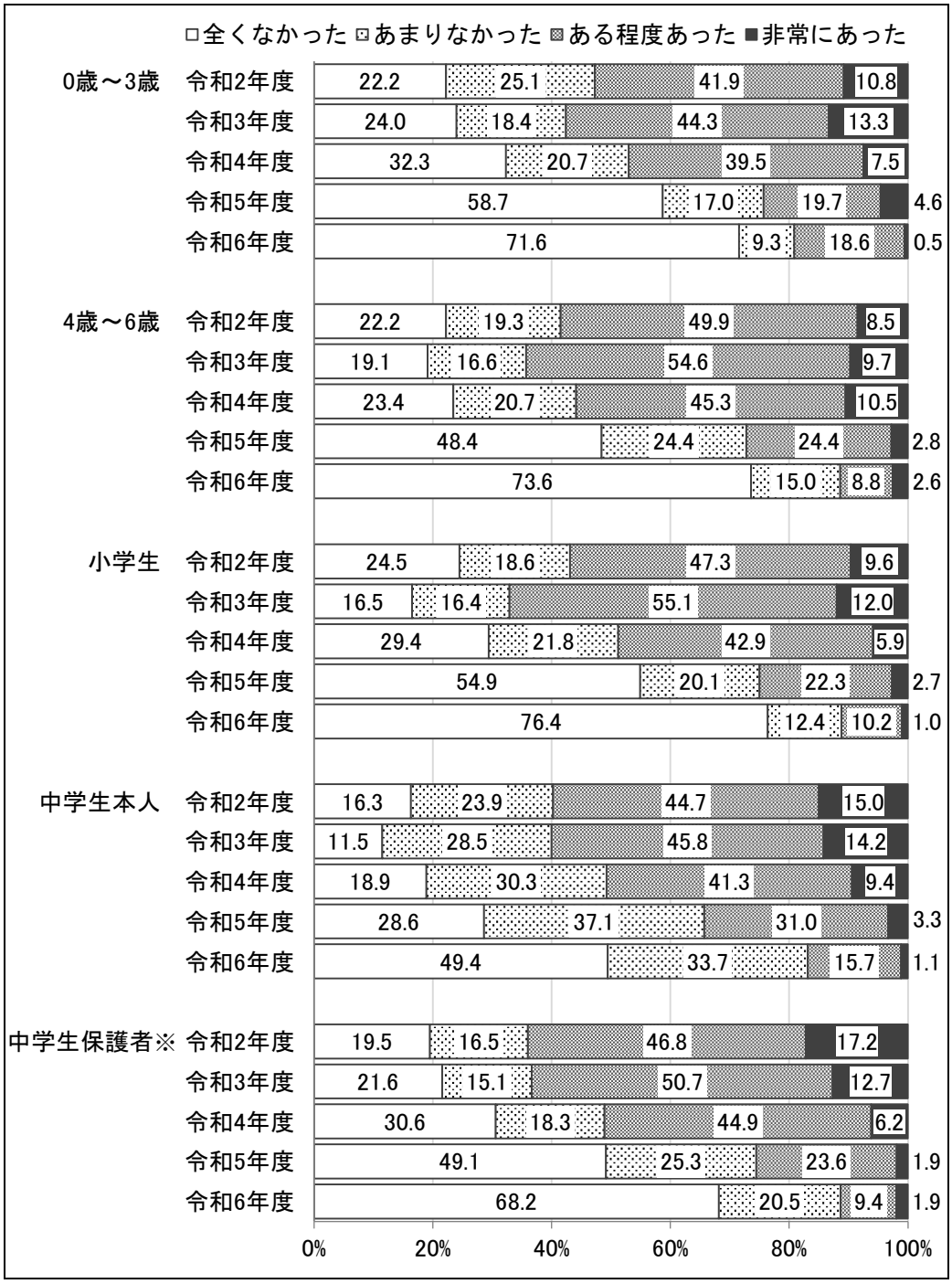


図 11　子どものコロナ流行による生活への支障の推移

※保護者からみた子どもの支障

⑵一般（16 歳以上）の回答結果について

ア　回答者数（回答率）

令和 6 年度の一般(16 歳以上)の回答者数(回答率)は 28,861 人(16.7%)であり、有効回答数(有効回答率)は 28,795 人(16.7%)であった(図 12)。また、年代別の回答者数(回答率)は 16 歳～39 歳が 3,271 人(7.0%)、40 歳～64 歳が 7,470 人(12.6%)、65 歳以上が 18,120 人(27.4%)であった(図 13)。平成 28 年度からオンライン回答を導入し、令和 6 年度のオンライン回答の割合は過去最高の 25.4%であった。

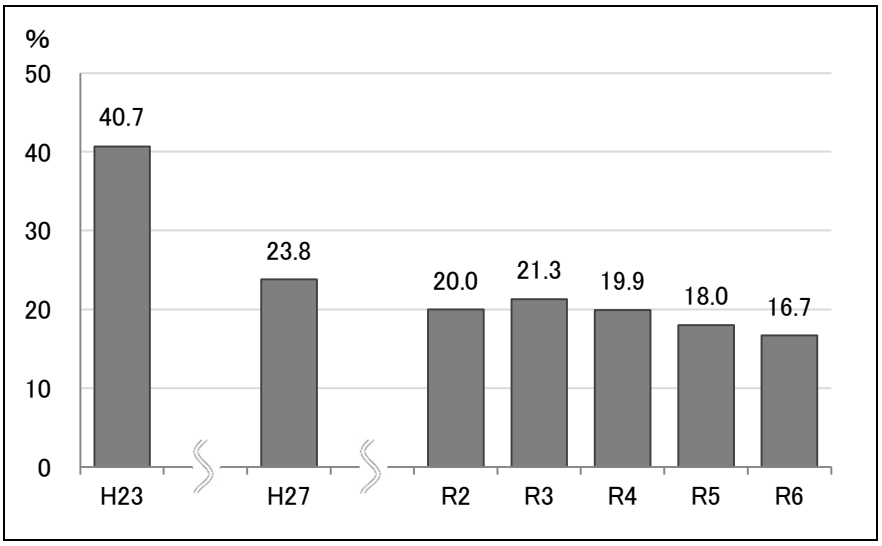


図 12　一般の回答率の推移

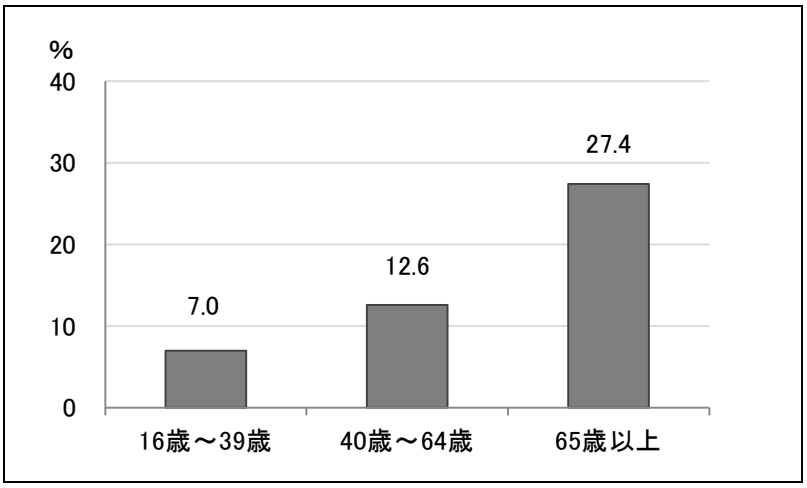


図 13　令和 6 年度　一般の回答率　年代別

イ　主観的健康状態

令和 6 年度の主観的健康状態について、「きわめて良好」または「良好」と回答した人の割合は 29.6%であった(図 14)。年代別では、年代が下がるほど「きわめて良好」または「良好」と回答した人の割合が高く、65 歳以上の 23.6%に対し、16 歳～39 歳は 53.0%であった(図 15)。

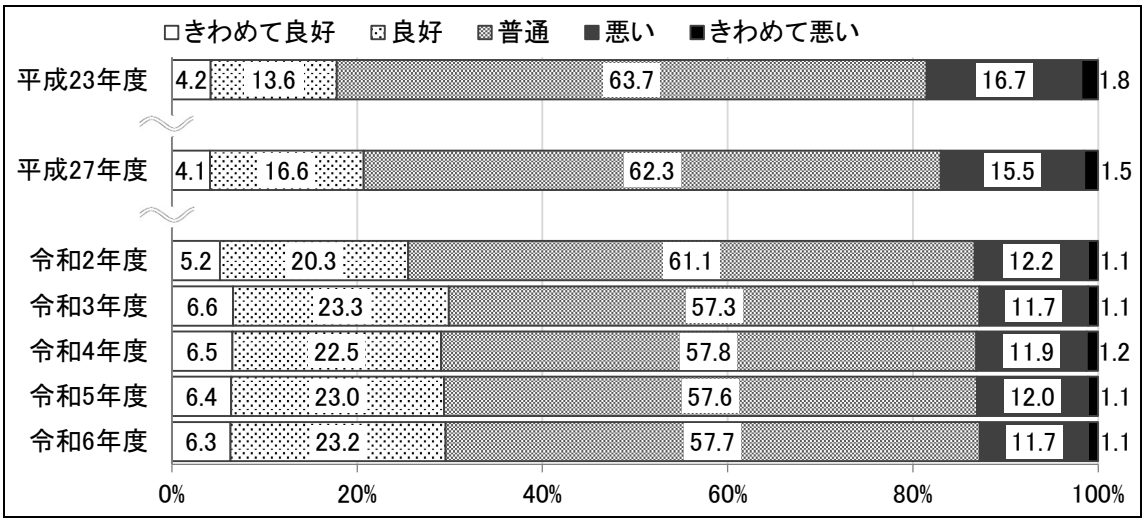


図 14　一般の主観的健康状態の推移

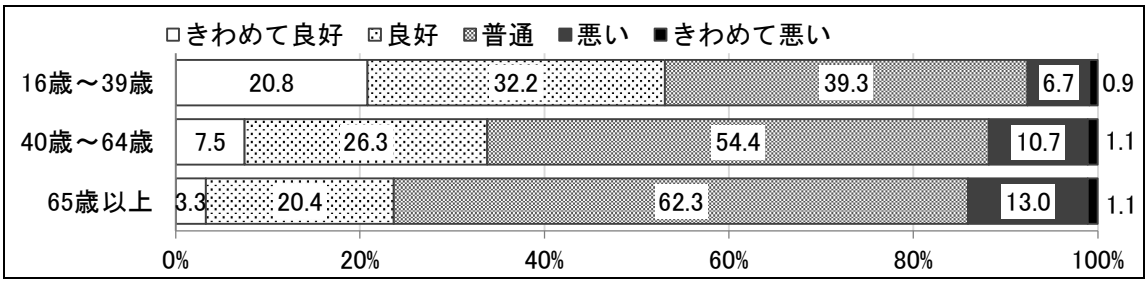


図 15　令和 6 年度　一般の主観的健康状態　年代別

ウ　睡眠満足度

令和 6 年度の睡眠満足度について、「満足している」と回答した人の割合は 38.8%であった。一方、13.4%の人が「かなり不満」または「非常に不満か、全く眠れなかった」と回答した(図 16)。

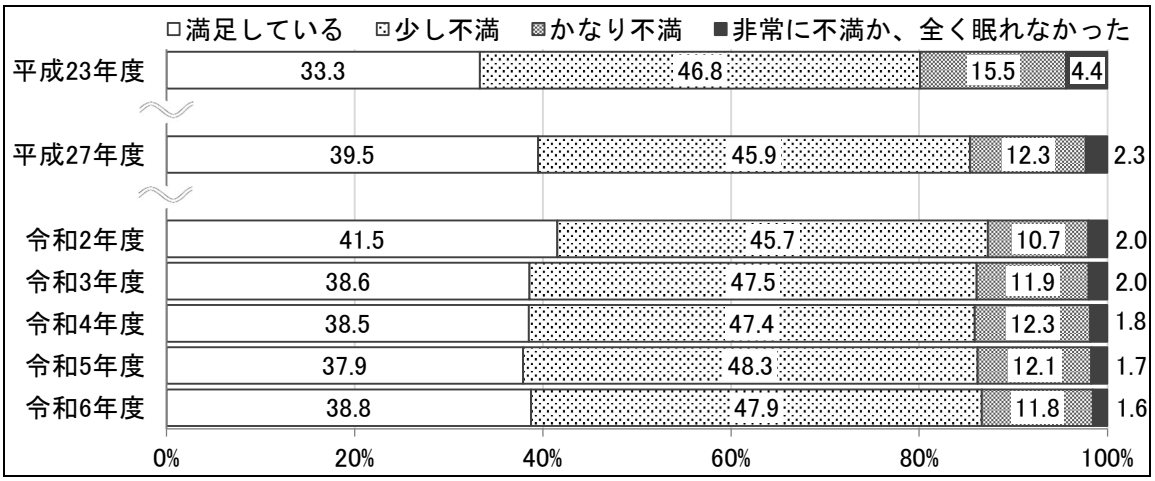


図 16　一般の睡眠満足度の推移

エ　普段の運動頻度

令和 6 年度の普段の運動頻度について、「ほとんど毎日している」または「週に 2～4 回している」と回答した人の割合は 43.8%であった（図 17）。全国調査（※3）の結果によると、1 週間の運動日数が 2 日以上と回答した人（20 歳以上）の割合は 46.5%であり、単純な比較はできないものの、運動習慣については全国水準と同等であることがうかがわれる。また、調査時住所別では、県内居住者のほうが運動頻度はやや高かった（図 18）。

※3 厚生労働省「令和 6 年国民健康・栄養調査報告」

https://www.mhlw.go.jp/content/001675213.pdf

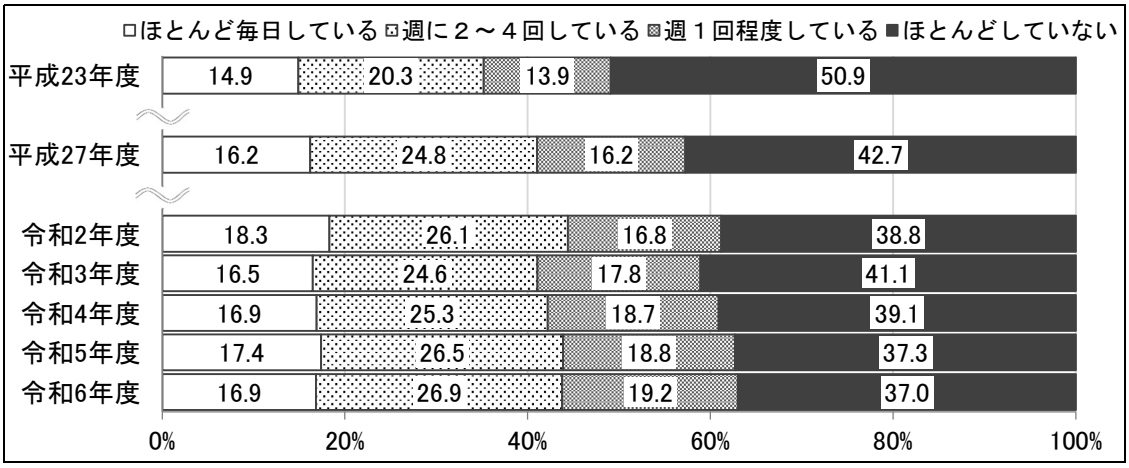


図 17　一般の普段の運動頻度の推移

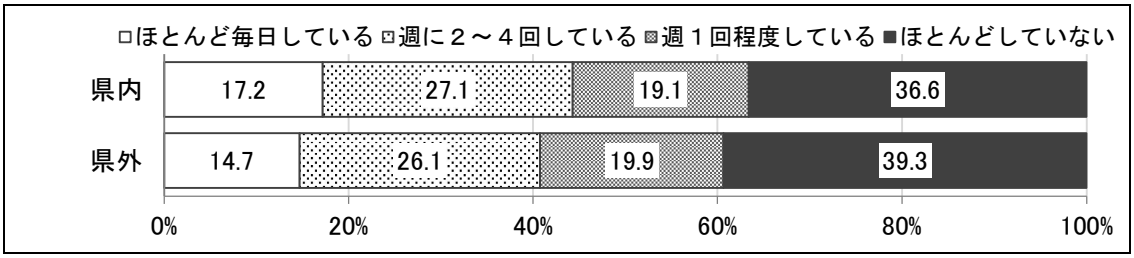


図 18　令和 6 年度　一般の普段の運動頻度　調査時住所別

オ　喫煙割合

令和 6 年度の喫煙割合は 13.1%（男性 20.8%、女性 5.9%）であった（図 19）。「健康日本 21」の目標 12%に向けて、継続して注視していく必要がある。

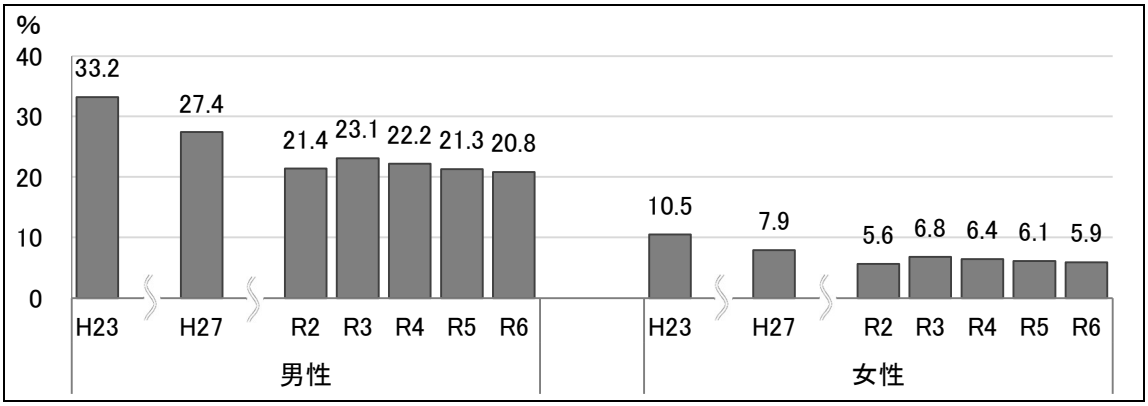


図 19　喫煙者の割合の推移　男女別

カ　問題飲酒（CAGE）２点以上の割合

問題となるような飲酒行動（問題飲酒）についてCAGE（先行研究に基づきカットオフ値は2点）を用いて測定した。

令和6年度の問題飲酒のハイリスクの人の割合（2点以上）は、男性13.0%、女性6.0%であり、それぞれ減少傾向にあった（図20）。男女別年代別では、男性は40歳～64歳、女性は20歳～39歳の割合が高かった（図21）。また、男女別調査時住所別では、男女とも県外居住者のほうが高かった（図22）。

【CAGEについて】

飲酒の習慣に関する4項目について、その経験が過去30日間に「あった」または「なかった」のどちらかで回答する質問項目である。得点が 2 点以上の場合、問題飲酒の可能性があるとされている。

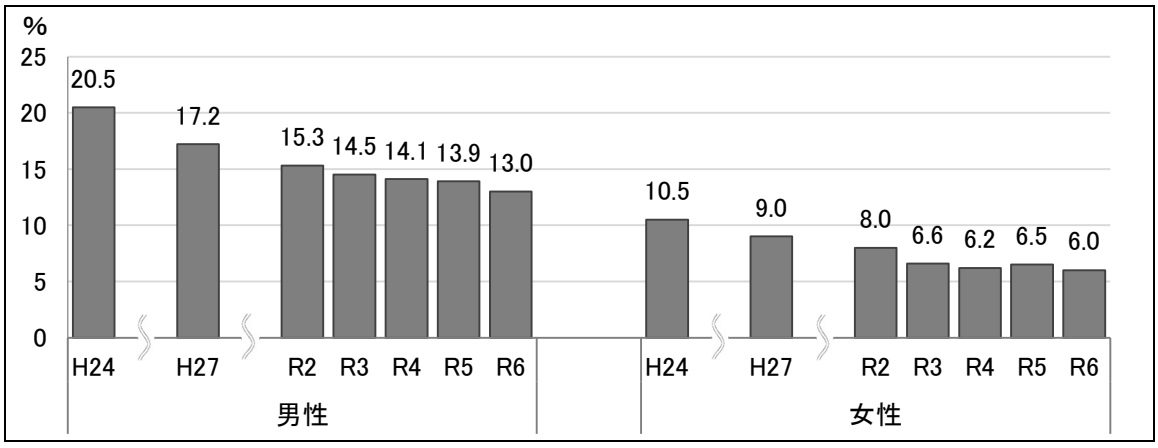


図20　問題飲酒（CAGE）2点以上の割合の推移　男女別

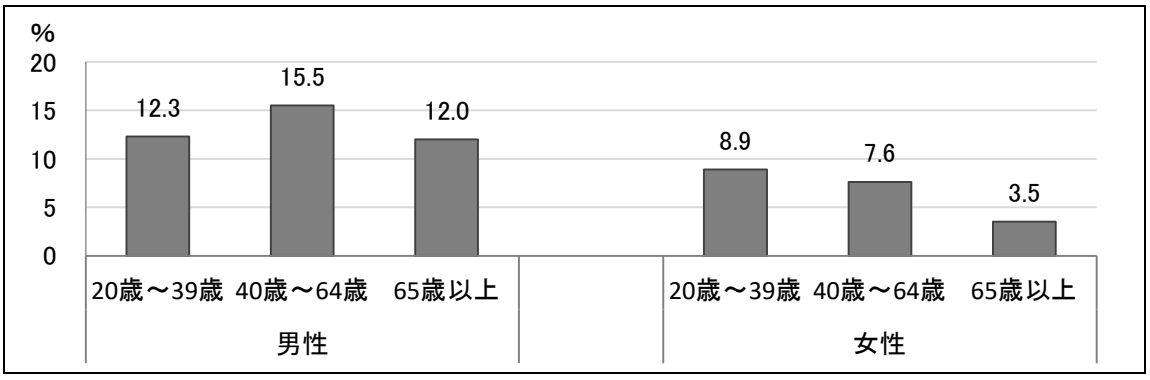


図21　令和6年度　問題飲酒（CAGE）2点以上の割合　男女別年代別

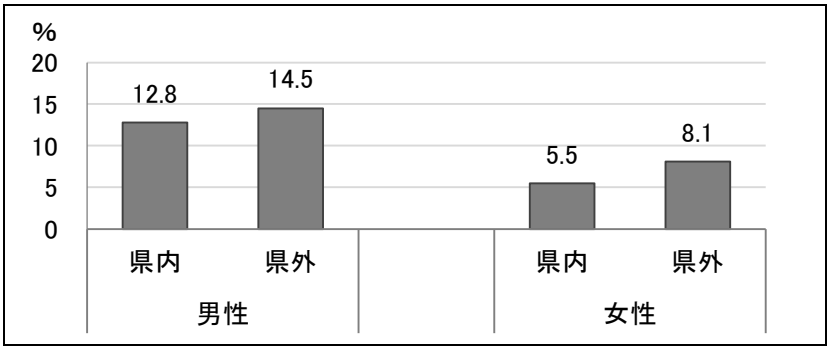


図22　令和6年度　問題飲酒（CAGE）2点以上の割合　男女別調査時住所別

キ　気分の落ち込みや不安に関して支援が必要と考えられる人の割合

全般的な精神健康度、気分障害（うつ病）や不安障害の可能性について K6（先行研究に基づきカットオフ値は 13 点）を用いて測定した。

令和 6 年度の気分障害や不安障害のハイリスクの人の割合（13 点以上）は、全体で 5.3%であった（図 23）。被災していない一般人口を対象とした先行研究（※4）における割合（3%）と比較しても高い値を示している。男女別では、男性 5.1%、女性 5.6%と、女性の割合が高く（図 24）、年代別では、高齢者より若年者のほうが高い傾向にあった（図 25）。調査時住所別では、県内居住者が 5.1%であるのに対し、県外居住者は 7.0%と高かった（図 26）。

【K6 について】

気分の落ち込みや不安に関する 6 項目について、それぞれ過去 30 日間にどれくらいの頻度であったかを回答する質問項目である。得点が 13 点以上の場合、気分障害や不安障害の可能性があるとされている。

※4　川上憲人，古川壽亮．全国調査における K6 調査票による心の健康状態の分布と関連要因．平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金（統計情報高度利用総合研究事業）「国民の健康状況に関する統計情報を世帯面から把握・分析するシステムの検討に関する研究」分担研究報告書，2007．

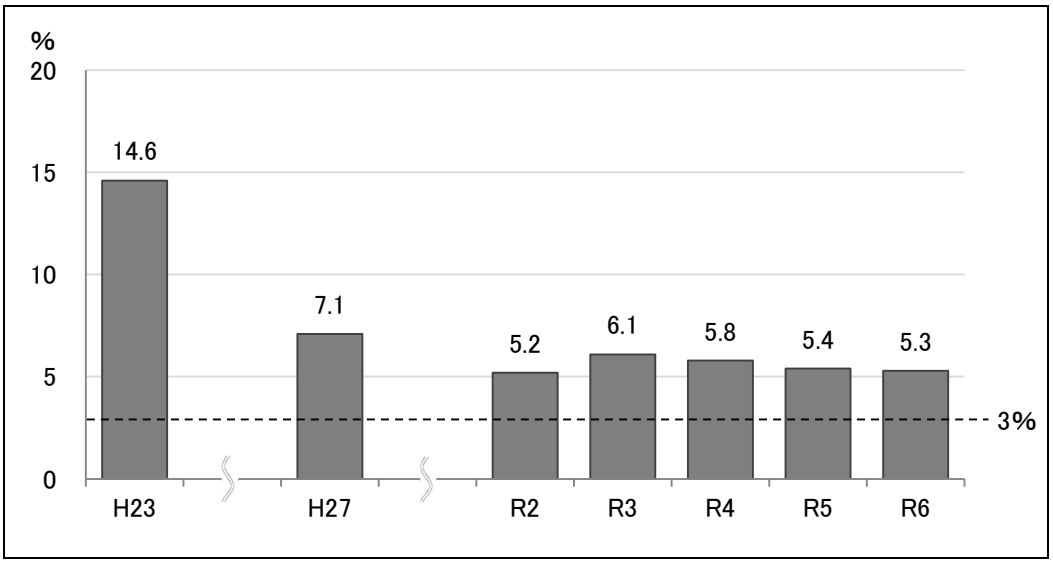


図 23　一般の全般的精神健康度（K6）13 点以上の割合の推移

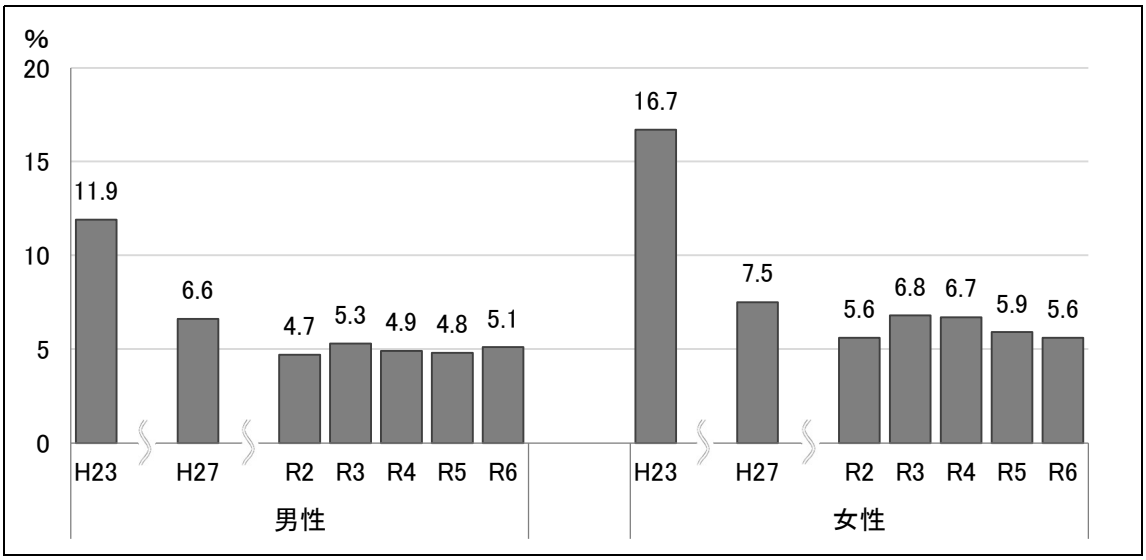


図 24　一般の全般的精神健康度（K6）13 点以上の割合の推移　男女別

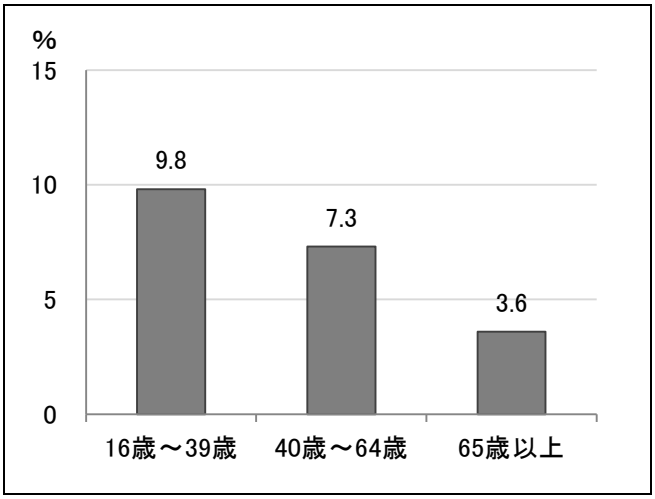


図 25　令和 6 年度　一般の全般的精神健康度（K6）13 点以上の割合　年代別

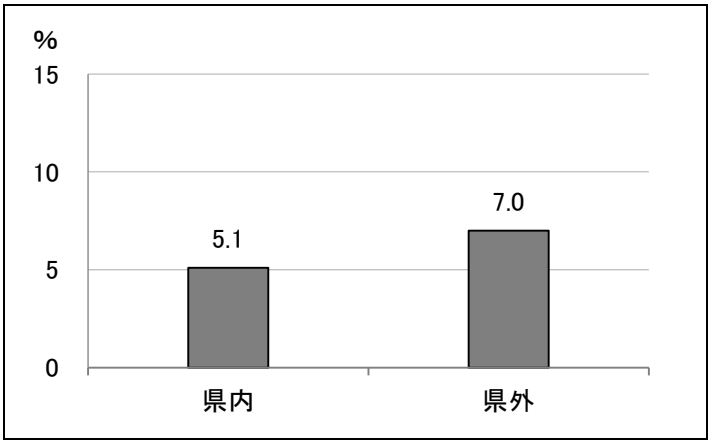


図 26　令和 6 年度　一般の全般的精神健康度（K6）13 点以上の割合　調査時住所別

ク 新型コロナウイルス感染症の流行による生活への支障

令和 6 年度の新型コロナウイルス感染症の流行による生活への支障について、「非常にあった」または「ある程度あった」と回答した人の割合は 20.8%であり(図 27)、令和 5 年度と比べ低くなった。男女別では、男性 20.5%、女性 21.0%でやや女性のほうが高かった(図 28)。年代別では、16 歳～39 歳 18.7%、40 歳～64 歳 22.6%、65 歳以上 20.4%であった(図 29)。

また、新型コロナウイルス感染症の流行による生活への支障の有無別(支障なし:全くなかった/あまりなかった、支障あり:ある程度あった/非常にあった)で K6 ハイリスク(13 点以上)の人の割合を比較すると、支障ありと回答した K6 ハイリスクの人の割合が高く(図 30)、全般的精神健康度によって大きな違いがみられた。

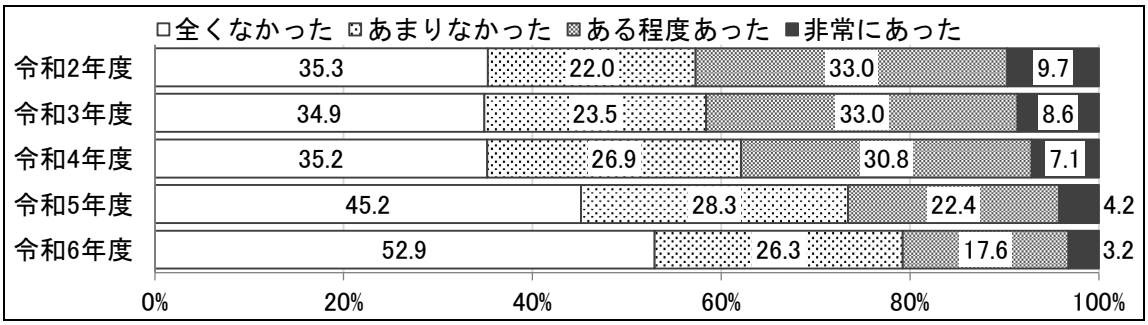


図 27　一般のコロナ流行による生活への支障の推移 全体

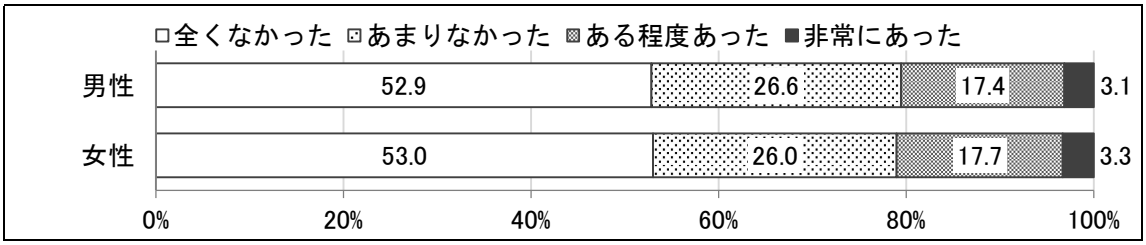


図 28　令和 6 年度　一般のコロナ流行による生活への支障 男女別

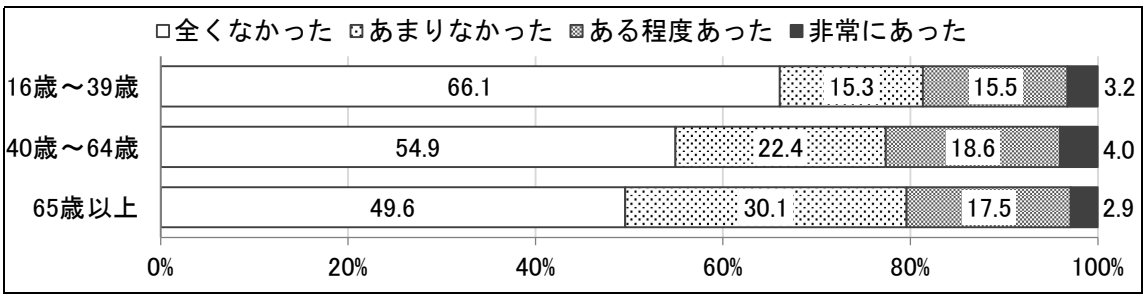


図 29　令和 6 年度　一般のコロナ流行による生活への支障 年代別

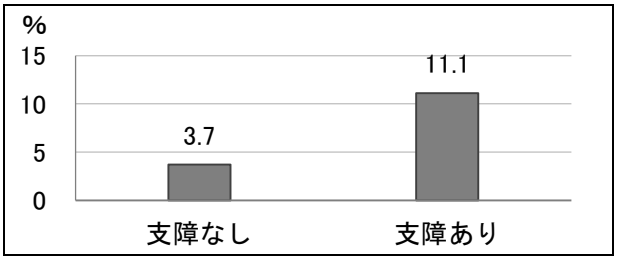


図 30　令和 6 年度　一般のコロナ流行による生活への支障有無別の
全般的精神健康度（K6）13 点以上の割合

ケ　放射線の健康影響の認識

令和 6 年度の放射線の次世代への健康影響の認識(リスク認知)について、「可能性は高い」または「可能性は非常に高い」と回答した人の割合は 18.9%であり(図 31)、減少傾向にあった。また、調査時住所別では、県外居住者のほうがリスク認知の影響が高い傾向にあった(図 32)。

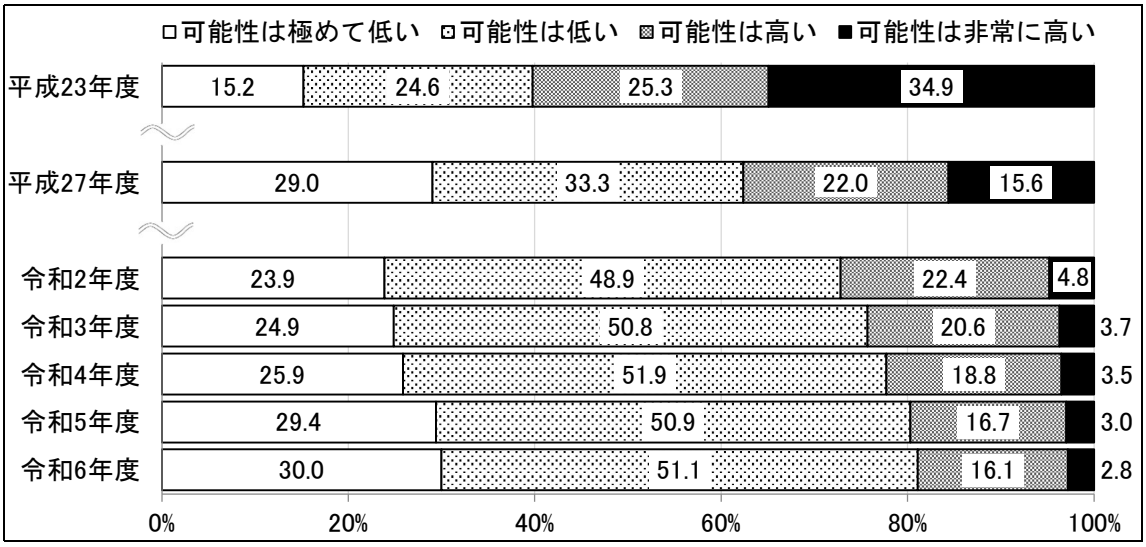


図 31　一般の放射線の次世代への健康影響の認識（リスク認知）の割合の推移

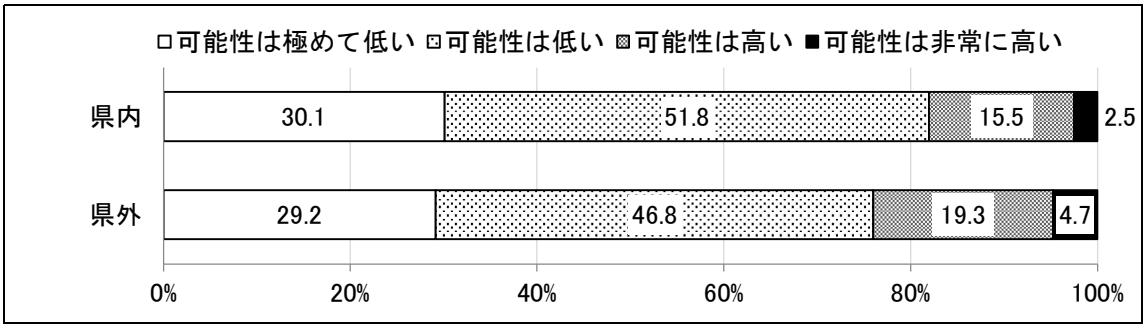


図 32　令和 6 年度　一般の放射線の次世代への健康影響の認識（リスク認知）の割合　調査時住所別

コ　相談先

令和 6 年度の相談先(現在、こころや身体の問題が生じた場合、相談できる身近な人や各種機関はありますか)について、「相談できる人や機関はない」と回答した人は 4,790 人(17.0%)であった。

⑶ まとめ

子どもに対する調査結果から、SDQ でみた情緒や行動の問題等を抱えている可能性が高い子どもの割合は、先行研究のハイリスクの子どもの割合とほとんど変わりない程度まで改善している。震災を経験していない子どもの対象者が増えたことも改善の一因かもしれないが、今後も注視していく必要がある。

一般（16 歳以上）については、コロナ禍による生活への支障が減じたためか、運動習慣は令和 5 年度までの改善傾向を維持している。問題飲酒の割合については男性・女性ともで穏やかな減少傾向が認められた。また、若年者と県外居住者の K6 ハイリスク割合が高い傾向は持続している。一方で、K6 でみた全般的精神健康度については、令和 5 年度と比べわずかにハイリスク割合の改善がみられたものの、被災していない一般人口のそれに比べると高い割合が持続している。放射線の健康影響に関しては、令和 6 年度では 8 割以上の住民が放射線の次世代への健康影響について「可能性は低い」または「可能性は極めて低い」と回答しており、それを懸念する住民割合の減少傾向は続いている。

4　こころの健康度・生活習慣に関する調査 支援概要

調査の結果をフィードバックし自身の健康管理に役立ててもらうことや、こころの健康度及び生活習慣上、相談・支援の必要があると判断された方に、状況把握と改善のための助言及び保健・医療機関につなぐことを目的として支援を実施した。

(1) 支援対象

令和 6 年度こころの健康度・生活習慣に関する調査の回答者のうち、電話や文書による相談・支援が必要だと判断された方。

なお、本報告では、令和 7 年 10 月 31 日までに回答があり、同年 12 月 31 日までに支援を実施した方を集計対象とした。

(2) 個人結果通知

令和 7 年 8 月 31 日までに回答があった方に対し、自身のこころの健康度と生活習慣の状況を把握し、健康管理に役立ててもらうため、回答があった方の回答状況とそれに対するアドバイスを記載した個人結果通知書を同年 7 月及び 9 月に送付した。

調査票区分別の発送数と項目内容は表 2 のとおり。

表 2　令和 6 年度　個人結果通知書の発送数

調査票区分	発送数	通知項目
0 歳～3 歳	183	身長、体重、運動習慣（2 歳以上）
4 歳～6 歳	194	身長、体重、運動習慣、こころと行動のストレス反応（SDQ※1）
小　学　生	514	
中　学　生	477	
一般	28,644	肥満度（BMI※2）、運動習慣、睡眠、こころのストレス反応（K6※3）

※1 SDQ:子どもの情緒と行動に関する尺度

※2 BMI:Body Mass Index（調査票内の身長及び体重から算出）

※3 K6:気分の落ち込みや不安など、全般的な精神健康状態に関する尺度

なお、子どもの結果通知書には参考として、調査票記入時点の月齢の身長体重標準値を記載。

(3) 支援対象者の選定基準及び支援方法

ア　支援対象者の選定基準

緊急性の高さや状態の重症度に応じ、表 3、4 のとおり支援基準を設定し、支援の充実を図った。

表 3　令和 6 年度　子どもの支援対象者選定基準

		情緒と行動（SDQ）	相談先の有無、発達の問題	欄外・自由記載
選定基準	基準Ⅰ	1）SDQ（20 点以上）	発達の悩み「あり」かつ相談先「なし」	専門職により緊急度を判断
	基準Ⅱ	2）SDQ（16 点以上）		

表 4　令和 6 年度　一般の支援対象者選定基準

		精神健康	身体健康	睡眠障害	精神疾患	飲酒	欄外・自由記載
選定基準	基準Ⅰ	1）K6（13 点以上）	1）高血圧もしくは糖尿病「あり」通院「なし」、かつ①BMI27.5 以上あるいは②過去 1 年間健診受診「なし」のいずれか				専門職により緊急度を判断
	基準Ⅱ	2）K6（10 点以上）	2）1）以外の高血圧もしくは糖尿病「あり」通院「なし」	精神疾患「なし」かつ睡眠の質「かなり不満」以上	精神疾患「あり」かつ通院「なし」または「未記入」		
	基準Ⅲ		3）1）2）以外の BMI25.0 以上かつ過去 1 年間健診受診なし			CAGE 2 点以上	

※支援基準該当者で喫煙者には禁煙の呼びかけを実施

イ　支援方法

① 基準Ⅰ

基準Ⅰの対象者には、公認心理師、保健師、看護師等による「ここから健康支援チーム」が電話をかけて相談対応を行った（以下、電話支援）。電話支援では対象者の健康状態に関して聞き取りを行うとともに、対象者が現在抱える問題を確認し、必要に応じて保健・医療機関等への受診勧奨を行った。また、電話番号の記載のない対象者や電話がつながらない対象者には、電話支援希望を確認するハガキ（電話支援希望確認ハガキ）を送付し、返信されたハガキに電話支援希望の記載がある方には再度電話をかけた。

② 基準Ⅱ

基準Ⅱの対象者には、電話支援希望確認ハガキを送付した。返信されたハガキに電話支援希望の記載がある方、もしくは返信内容から支援が必要と判断された方には、電話支援を行った。なお、「身体健康」「睡眠障害」の対象者には当センターで作成した「こころの健康度と生活習慣セルフサポートブック」を同封した。

③ 基準Ⅲ

基準Ⅲの対象者には、「こころの健康度と生活習慣セルフサポートブック」を送付した。

5　こころの健康度・生活習慣に関する調査 支援結果概要

(1) 電話による支援

ア　子ども

(ア)　支援者数

基準Ⅰ及び基準Ⅱによる子どもの支援対象者数及び支援実施者数は図 33 のとおり。なお、電話支援のほとんどは対象者の保護者に対して行われた。電話支援実施者数は 62 人、回答者数に対する割合は 4.5%であった。

電話支援希望確認ハガキ返信なしの 17 人には、「こころの健康度と生活習慣セルフサポートブック」を送付した。

また、電話支援実施者の男女別、調査時住所別は表 5、6 のとおり。

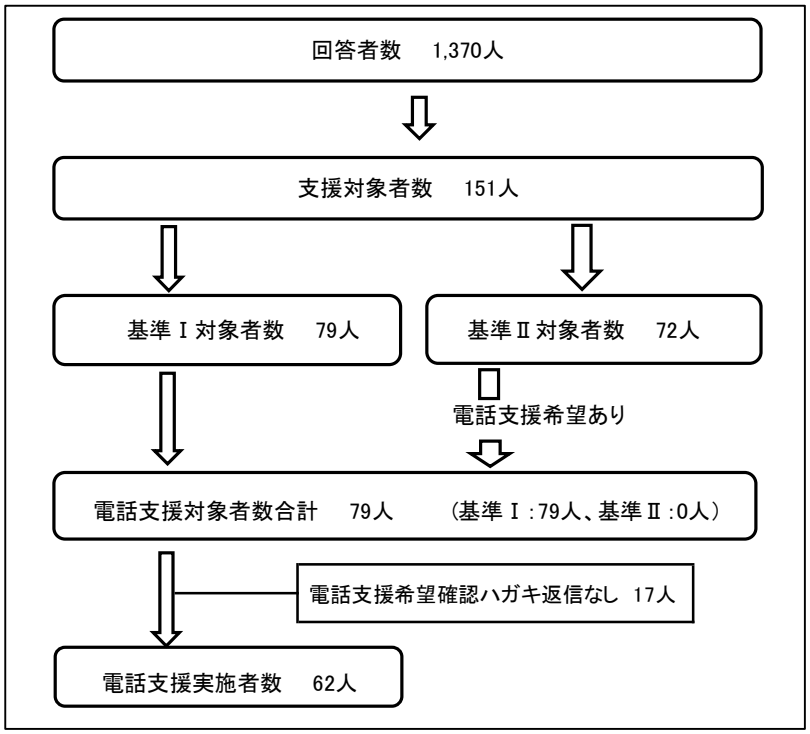


図 33　令和 6 年度　子どもの支援対象者数及び支援実施者数

表 5　令和 6 年度　電話支援実施者の男女別（子ども）

区　分	男児・男子	女児・女子	合計
全　体	42　(67.7%)	20　(32.3%)	62
0歳～3歳	2　(66.7%)	1　(33.3%)	3
4歳～6歳	7　(77.8%)	2　(22.2%)	9
小学生	22　(64.7%)	12　(35.3%)	34
中学生	11　(68.8%)	5　(31.3%)	16

表 6　令和 6 年度　電話支援実施者の調査時住所別（子ども）

区　分	県内	県外	合計
全　体	57　(91.9%)	5　(8.1%)	62
0歳～3歳	3 (100.0%)	0　(0.0%)	3
4歳～6歳	8　(88.9%)	1　(11.1%)	9
小学生	32　(94.1%)	2　(5.9%)	34
中学生	14　(87.5%)	2　(12.5%)	16

(イ) 支援結果

調査回答の訴えに基づき、現在問題になっていることについて電話により聞き取りを行った。子どもの相談内容は表 7 のとおり。また、令和 6 年度電話支援の相談内容具体例は表 8 のとおり。

表 7　電話支援の相談内容（子ども）

平成24年度	平成27年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
被災による不安、放射線・被ばく等の不安 147人 (23.6%)	学校に関すること 54人 (21.6%)	学校に関すること 25人 (26.3%)	学校に関すること 38人 (35.5%)	学校に関すること 35人 (29.7%)	学校に関すること 22人 (32.4%)	学校に関すること 12人 (19.4%)
学校に関すること 136人 (21.8%)	身体面の健康 15人 (6.0%)	日常生活や習慣 18人 (18.9%)	怒り・イライラ・暴力 15人 (14.0%)	身体面の健康 15人 (12.7%)	日常生活や習慣 9人 (13.2%)	日常生活や習慣 6人 (9.7%)
身体面の健康 102人 (16.4%)	睡眠 9人 (3.6%)	怒り・イライラ・暴力 12人 (12.6%)	日常生活や習慣 14人 (13.1%)	日常生活や習慣 13人 (11.0%)	身体面の健康 6人 (8.8%)	将来への不安 5人 (8.1%)
怒り・イライラ・暴力 90人 (14.4%)	怒り・イライラ・暴力 8人 (3.2%)	睡眠 9人 (9.5%)	将来への不安 9人 (8.4%)	怒り・イライラ・暴力 11人 (9.3%)	睡眠 6人 (8.8%)	身体面の健康 4人 (6.5%)
抑うつ 83人 (13.3%)	食習慣 4人 (1.6%)	身体面の健康 食習慣 各6人 (6.3%)	睡眠 8人 (7.5%)	睡眠 8人 (6.8%)	将来への不安 5人 (7.4%)	怒り・イライラ・暴力 4人 (6.5%)

※平成 23 年度は、集計方法が異なるため、平成 24 年度より記載
※延べ相談内容件数

表 8　令和 6 年度　電話支援の相談内容具体例（子ども）

学校に関すること	【小学生】 ・本人は話すことが苦手なので、集団生活がうまくやれているか親として心配。担任の先生とは相談できている。 ・大人数が苦手なため、授業に集中できなかった。少人数の支援学級に移ったことで、授業中落ち着いて参加できるようになってきた。 ・友人との関係がうまくいかず、教室に入れない。現在は保健室登校でタブレットを使い授業に参加している。 ・学校への行きしぶりがあるが、本人が理由を話してくれず、わからない。相談できるところがあったら知りたい。
日常生活や習慣	【4 歳～6 歳】 ・食べ物の好き嫌いが多く、給食がある日は登園したくないと言う。 【中学生】 ・ゲームの時間など日常生活で約束したルールを守れないことがある。そのため、本人へのルール確認をその都度家族が行っている。

将来への不安	【0 歳～3 歳】 ・言葉の発達がゆっくりのようなので、次の乳幼児健診で相談したいと思う。 【4 歳～6 歳】 ・小学校へ上がることへの不安が強く、お腹を壊すことがあった。 【中学生】 ・受験勉強のストレスで眠れない日があるので、親は心配している。
身体面の健康	【4 歳～6 歳】 ・自閉症スペクトラムの診断を受けた。本人は気持ちの切り替えが苦手なので、親が対応法を主治医に聞いている。 【中学生】 ・起立性調節障害があり、学校へ行けない日がある。

電話支援では、傾聴、受診勧奨、生活習慣指導、心理教育などの対応を行った。初回電話支援時の状況は、表 9 のとおり。電話支援の結果、支援継続とした理由は、子どもの体調不良（身体、精神）や学校不適応、保護者の体調不良（身体、精神）などであった。

表 9　令和 6 年度　初回電話支援時の状況（子ども）

区 分	支援継続	単回支援	詳細不明	支援希望なし	合計
全 体	7 (11.3%)	47 (75.8%)	4 (6.5%)	4 (6.5%)	62
0歳～3歳	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3
4歳～6歳	0 (0.0%)	7 (77.8%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)	9
小学生	2 (5.9%)	29 (85.3%)	2 (5.9%)	1 (2.9%)	34
中学生	3 (18.8%)	10 (62.5%)	1 (6.3%)	2 (12.5%)	16

・支援継続　：体調不良や震災時の影響を強く受けている方、社会・学校不適応や孤立している方など、やや心配が残るため、保健・医療機関等への受診勧奨や外部機関への情報提供など継続的な支援につなぐ必要があると判断されたもの

・単回支援　：体調や環境面で状態の改善が確認できた場合や、サポート資源の利用があった場合など、自身で対処がなされていると判断されたもの

・詳細不明　：何らかの理由で状況確認が困難だったもの

・支援希望なし：調査票や電話支援希望確認ハガキにより、支援は必要ないと、対象者から申し出があったもの

イ　一般

(ア)　支援者数

基準Ⅰ及び基準Ⅱによる一般の支援対象者数及び支援実施者数は図 34 のとおり。電話支援実施者数は 1,659 人、回答者数に対する割合は 5.7%であった。

不在の 41 人と電話支援希望確認ハガキ返信なしの 445 人、その他の 22 人には、「こころの健康度と生活習慣セルフサポートブック」を送付した。

電話支援実施者の男女別年代別は表 10、回答者における電話支援実施者の割合年代別は表 11 のとおり。電話支援実施者の調査時住所別は表 12 のとおり。

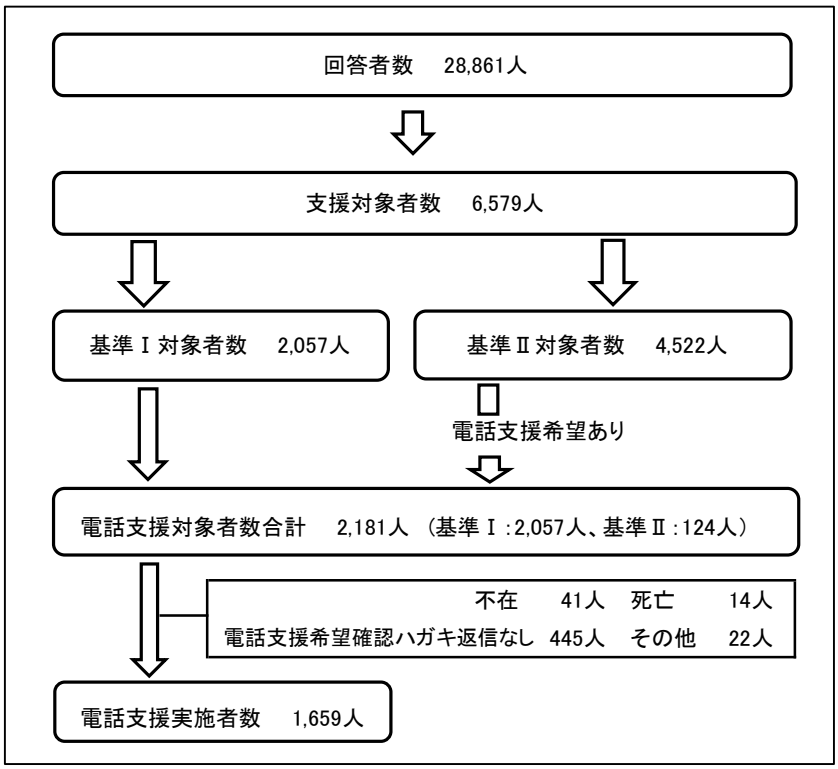


図 34　令和 6 年度　一般の支援対象者数及び支援実施者数

表 10　令和 6 年度　電話支援実施者の男女別年代別（一般）

区　分	16歳～39歳	40歳～64歳	65歳以上	合計
全　体	229　(13.8%)	535　(32.2%)	895　(53.9%)	1,659
こころ				
男性	84　(13.2%)	227　(35.7%)	324　(51.0%)	635
女性	120　(17.3%)	200　(28.8%)	374　(53.9%)	694
生活習慣				
男性	17　(8.2%)	70　(33.8%)	120　(58.0%)	207
女性	8　(6.5%)	38　(30.9%)	77　(62.6%)	123

表 11　令和 6 年度　回答者における電話支援実施者の割合年代別（一般）

回答者数	16歳～39歳 3,271	40歳～64歳 7,470	65歳以上 18,120	合計 28,861
電話支援実施者数 （割合）	229 (7.0%)	535 (7.2%)	895 (4.9%)	1,659 (5.7%)

表 12　令和 6 年度　電話支援実施者の調査時住所別（一般）

区 分	県内	県外	合計
全 体	1,356 (81.7%)	303 (18.3%)	1,659
こころ	1,078 (81.1%)	251 (18.9%)	1,329
生活習慣	278 (84.2%)	52 (15.8%)	330

(イ)　支援結果

調査回答の訴えに基づき、現在問題になっていることについて電話により聞き取りを行った。一般の相談内容は表 13 のとおり。また、令和 6 年度電話支援の相談内容の具体例は表 14 のとおり。

表 13　電話支援の相談内容（一般）

平成24年度	平成27年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
身体面の健康	身体面の健康	身体面の健康	身体面の健康	身体面の健康	身体面の健康	身体面の健康
2,761人 (46.1%)	1,145人 (44.6%)	866人 (44.0%)	1,233人 (48.1%)	1,086人 (46.6%)	831人 (42.5%)	599人 (36.1%)
睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
2,349人 (39.2%)	798人 (31.1%)	583人 (29.6%)	680人 (26.5%)	551人 (23.6%)	436人 (22.3%)	273人 (16.5%)
抑うつ	抑うつ	抑うつ	抑うつ	抑うつ	抑うつ	抑うつ
1,417人 (23.7%)	342人 (13.3%)	296人 (15.0%)	451人 (17.6%)	371人 (15.9%)	268人 (13.7%)	171人 (10.3%)
家族関係	食習慣	食習慣	運動	運動	運動	運動
1,058人 (17.7%)	236人 (9.2%)	249人 (12.7%)	333人 (13.0%)	293人 (12.6%)	243人 (12.4%)	141人 (8.5%)
住環境	将来への不安	運動	食習慣	食習慣	食習慣	食習慣 将来への不安
1,049人 (17.5%)	235人 (9.2%)	245人 (12.4%)	272人 (10.6%)	270人 (11.6%)	238人 (12.2%)	各116人 (7.0%)

※平成 23 年度は、集計方法が異なるため、平成 24 年度より記載
※延べ相談内容件数

表 14　令和 6 年度　電話支援の相談内容具体例（一般）

身体面の健康	・高血圧を診てもらっている医師より、お酒を減らすようにいわれているが、難しい。 ・産後から腰痛があるのだが、痛みを和らげるよい方法を知りたい。 ・職場の人間関係に悩み、体調を崩したので、精神科を受診した。
睡眠	・夜目が覚める回数が、加齢とともに少しずつ増えてきている。 ・家族の介護で、夜中起こされることがあり、気になって眠れないことがある。 ・朝早く目が覚め、よく眠れたという感じがない。
抑うつ	・仕事のストレスから、うつ病を発症し、現在休職中。 ・毎年冬になると、気持ちが落ち込む。暖かくなると良くなる。 ・転居したばかりで、近所に知り合いもおらず、気分が沈みがち。
運動	・冬の期間、ウォーキングをやめてしまい、体重が増えてしまった。 ・団地で行っている体操に夫婦で参加している。 ・退職後運動不足なので、どのような運動をしたらよいか教えてほしい。

食習慣	・現在ひとり暮らし。夕食はおかずを買っているが、野菜はあまり食べない。 ・ストレスがたまると、間食の量が増えてしまい、先日の健診で「食事に気をつけるように」とアドバイスを受けた。
将来への不安	・震災後から家族と離れて一人で暮らしているため、「自分の身体に何かあったらどうしよう」と考えて不安になる。 ・現在、病気で仕事を休んでいるが、いつまでこの状態が続くのか不安になる。

電話支援では、受診勧奨や生活習慣指導、心理教育などの対応を行った。初回電話支援時の状況は、表 15 のとおり。電話支援の結果、支援継続とした理由（延べ数）は、体調不良（精神）が 61 人と最も多く、次いで体調不良（身体）が 60 人であった。

電話支援実施者への支援後の対応としては、医療機関情報等の文書送付などを行った（1 人）。

表 15　令和 6 年度　初回電話支援時の状況（一般）

区 分	支援継続		単回支援		詳細不明		支援希望なし		合計
全 体	110	(6.6%)	1,391	(83.8%)	12	(0.7%)	146	(8.8%)	1,659
こころ	108	(8.1%)	1,100	(82.8%)	10	(0.8%)	111	(8.4%)	1,329
生活習慣	2	(0.6%)	291	(88.2%)	2	(0.6%)	35	(10.6%)	330

・支援継続　：体調不良や震災時の影響を強く受けている方、社会・学校不適応や孤立している方など、やや心配が残るため、保健・医療機関等への受診勧奨や外部機関への情報提供など継続的な支援につなぐ必要があると判断されたもの

・単回支援　：体調や環境面で状態の改善が確認できた場合や、サポート資源の利用があった場合など、自身で対処がなされていると判断されたもの

・詳細不明　：何らかの理由で状況確認が困難だったもの

・支援希望なし：調査票や電話支援希望確認ハガキにより、支援は必要ないと、対象者から申し出があったもの

⑵ パンフレット送付による支援

基準Ⅲにより 1,504 人（身体健康 697 人、飲酒 807 人）に、「こころの健康度と生活習慣セルフサポートブック」の送付を行った。

⑶ 入電による相談対応

令和 6 年度支援期間中の「ここから調査専用ダイヤル」への入電件数は 723 件であった。入電内容の内訳（延べ数 857 件）は、電話支援時不在だった対象者からの折り返しが 352 件、相談が 137 件、調査に関する問い合わせ等が 307 件、その他が 61 件であった。

調査に関する問い合わせ等については、昨年度と同様、主に調査票の発送後に基本情報の変更や調査の記入方法などが多かった。また、一年を通して相談の入電があり、主に自身や家族の健康に関する内容、家族や友人、職場等の人間関係に関する内容が多かった。

⑷ まとめ

子どもの支援において、令和 6 年度の電話支援実施者数は 62 人であり、回答者数に対する割合は 4.5%であった。また、相談内容の割合が高かったのは「学校に関すること」「日常生活や習慣」「将来への不安」であり、前年度とほぼ同様の傾向であった。初回電話支援時の結果から、体調不良(身体、精神)や学校不適応などの理由で心配が残るため「支援継続」と判断された方は 7 人(11.3%)であった。

一般の支援において、令和 6 年度の電話支援実施者は 1,659 人であり、回答者数に対する割合は 5.7%であった。また、相談内容の割合が高かったのは「身体面の健康」「睡眠」「抑うつ」であり、前年度と同様の傾向であった。初回電話支援時の結果から、「支援継続」と判断された方は、こころの電話支援実施者 108 人、生活習慣の電話支援実施者 2 人の計 110 人(6.6%)であった。

子どもにおいても一般においても、「支援継続」と判断された場合や対象者の希望があった場合は、電話支援による継続的な状況確認や社会資源の紹介を行った。また、電話がつながらないなどの理由により電話支援を実施できなかった場合には、当センターで作成した「こころの健康度と生活習慣セルフサポートブック」を送付し、心身の健康へのセルフチェックを促すとともに、「ここから調査専用ダイヤル」および各種相談窓口を案内した。

６　令和６年度「県民健康調査」こころの健康度・生活習慣に関する調査 結果集計

（1）０歳～3 歳

					人数	割合
回答形式		（有効回答	183 人）	・紙	71	38.8%
				・オンライン	112	61.2%
性別		（有効回答	183 人）	・男児	90	49.2%
（平均年齢　1.9　歳）				・女児	93	50.8%
調査時住所別		（有効回答	183 人）	・県内	177	96.7%
				・県外	6	3.3%
問1　健康状態について		（有効回答	183 人）	・きわめて良好	104	56.8%
				・良好	56	30.6%
				・普通	23	12.6%
				・悪い	0	0.0%
				・きわめて悪い	0	0.0%
問2　身長と体重						
身長　男児	1歳	（有効回答	27 人）	平均身長	78.2 cm	
	2歳	（有効回答	24 人）	平均身長	87.6 cm	
	3歳	（有効回答	32 人）	平均身長	95.2 cm	
女児	1歳	（有効回答	34 人）	平均身長	77.1 cm	
	2歳	（有効回答	29 人）	平均身長	86.0 cm	
	3歳	（有効回答	27 人）	平均身長	92.7 cm	
体重　男児	1歳	（有効回答	31 人）	平均体重	10.4 kg	
	2歳	（有効回答	25 人）	平均体重	12.2 kg	
	3歳	（有効回答	33 人）	平均体重	14.6 kg	
女児	1歳	（有効回答	35 人）	平均体重	9.8 kg	
	2歳	（有効回答	29 人）	平均体重	11.9 kg	
	3歳	（有効回答	28 人）	平均体重	13.7 kg	
問3　普段の運動頻度について		（有効回答	108 人）	・ほとんど毎日している	73	67.6%
				・週に2～4回している	31	28.7%
				・週1回程度している	4	3.7%
				・ほとんどしていない	0	0.0%
問4　育児に自信がもてない		（有効回答	183 人）	・はい	31	16.9%
				・いいえ	88	48.1%
				・何ともいえない	64	35.0%
問5　育児の悩みがある		（有効回答	183 人）	・はい	25	13.7%
				・いいえ	125	68.3%
				・どちらとも言えない	33	18.0%
問6　相談先について		（有効回答	183 人）			
現在、育児について相談できる身近な人や				・ある	177	96.7%
各種機関はありますか				・相談できる人や機関はない	6	3.3%
問7　新型コロナウイルス感染症の流行による		（有効回答	183 人）	・全くなかった	131	71.6%
生活への支障				・あまりなかった	17	9.3%
				・ある程度あった	34	18.6%
				・非常にあった	1	0.5%

（2）４歳～６歳

					人数	割合
回答形式		（有効回答	194 人）	・紙	94	48.5%
				・オンライン	100	51.5%
性別		（有効回答	194 人）	・男児	93	47.9%
（平均年齢　4.8 歳）				・女児	101	52.1%
調査時住所別		（有効回答	194 人）	・県内	188	96.9%
				・県外	6	3.1%
問1　健康状態について		（有効回答	193 人）	・きわめて良好	99	51.3%
				・良好	62	32.1%
				・普通	32	16.6%
				・悪い	0	0.0%
				・きわめて悪い	0	0.0%
問2　身長と体重						
身長　男児	4歳	（有効回答	32 人）	平均身長	102.7 cm	
	5歳	（有効回答	28 人）	平均身長	108.7 cm	
	6歳	（有効回答	26 人）	平均身長	115.7 cm	
女児	4歳	（有効回答	35 人）	平均身長	102.2 cm	
	5歳	（有効回答	37 人）	平均身長	107.5 cm	
	6歳	（有効回答	25 人）	平均身長	115.2 cm	
体重　男児	4歳	（有効回答	33 人）	平均体重	16.4 kg	
	5歳	（有効回答	28 人）	平均体重	18.4 kg	
	6歳	（有効回答	29 人）	平均体重	22.1 kg	
女児	4歳	（有効回答	35 人）	平均体重	16.8 kg	
	5歳	（有効回答	38 人）	平均体重	18.6 kg	
	6歳	（有効回答	25 人）	平均体重	21.6 kg	
問3　普段の運動頻度について		（有効回答	193 人）	・ほとんど毎日している	128	66.3%
				・週に2～4回している	44	22.8%
				・週1回程度している	15	7.8%
				・ほとんどしていない	6	3.1%
問4　子どもの情緒と行動について						
1）SDQ		（有効回答	193 人）	平均総合得点	9.2 点	
		（有効回答	93 人）	平均総合得点　男児	9.7 点	
		（有効回答	100 人）	平均総合得点　女児	8.6 点	
				16点以上	22	11.4%
				（男児）	10	10.8%
				（女児）	12	12.0%
		（有効回答	187 人）	（県内）	21	11.2%
		（有効回答	6 人）	（県外）	1	16.7%
2）発達こころの問題		（有効回答	192 人）	・ある	29	15.1%
				・ない	163	84.9%
問5　相談先について		（有効回答	193 人）			
現在、育児について相談できる身近な人や				・ある	185	95.9%
各種機関はありますか				・相談できる人や機関はない	8	4.1%
問6　新型コロナウイルス感染症の流行による		（有効回答	193 人）	・全くなかった	142	73.6%
生活への支障				・あまりなかった	29	15.0%
				・ある程度あった	17	8.8%
				・非常にあった	5	2.6%

（3）小学生

				人数	割合
回答形式	（有効回答	514 人）	・紙	238	46.3%
			・オンライン	276	53.7%
性別	（有効回答	514 人）	・男児	269	52.3%
（平均年齢　9.4　歳）			・女児	245	47.7%
調査時住所別	（有効回答	514 人）	・県内	485	94.4%
			・県外	29	5.6%
問1　健康状態について	（有効回答	510 人）	・きわめて良好	221	43.3%
			・良好	170	33.3%
			・普通	112	22.0%
			・悪い	7	1.4%
			・きわめて悪い	0	0.0%
問2　身長と体重					
身長　男児	1年生（有効回答	28 人）	平均身長	122.7 cm	
	2年生（有効回答	47 人）	平均身長	126.1 cm	
	3年生（有効回答	52 人）	平均身長	133.3 cm	
	4年生（有効回答	51 人）	平均身長	138.7 cm	
	5年生（有効回答	41 人）	平均身長	146.2 cm	
	6年生（有効回答	37 人）	平均身長	151.1 cm	
女児	1年生（有効回答	35 人）	平均身長	120.7 cm	
	2年生（有効回答	36 人）	平均身長	128.9 cm	
	3年生（有効回答	35 人）	平均身長	132.4 cm	
	4年生（有効回答	46 人）	平均身長	140.8 cm	
	5年生（有効回答	43 人）	平均身長	144.4 cm	
	6年生（有効回答	39 人）	平均身長	150.8 cm	
体重　男児	1年生（有効回答	28 人）	平均体重	24.8 kg	
	2年生（有効回答	47 人）	平均体重	27.0 kg	
	3年生（有効回答	52 人）	平均体重	32.3 kg	
	4年生（有効回答	51 人）	平均体重	36.1 kg	
	5年生（有効回答	41 人）	平均体重	42.3 kg	
	6年生（有効回答	38 人）	平均体重	43.1 kg	
女児	1年生（有効回答	34 人）	平均体重	23.0 kg	
	2年生（有効回答	36 人）	平均体重	27.9 kg	
	3年生（有効回答	37 人）	平均体重	29.6 kg	
	4年生（有効回答	46 人）	平均体重	35.4 kg	
	5年生（有効回答	44 人）	平均体重	39.4 kg	
	6年生（有効回答	39 人）	平均体重	43.9 kg	
問3　普段の運動頻度について	（有効回答	511 人）	・ほとんど毎日している	67	13.1%
			・週に2～4回している	165	32.3%
			・週1回程度している	109	21.3%
			・ほとんどしていない	170	33.3%
問4　子どもの情緒と行動について					
1）SDQ	（有効回答	511 人）	平均総合得点	8.1 点	
	（有効回答	268 人）	平均総合得点　男児	8.5 点	
	（有効回答	243 人）	平均総合得点　女児	7.6 点	
			16点以上	54	10.6%
			（男児）	31	11.6%
			（女児）	23	9.5%
	（有効回答	482 人）	（県内）	51	10.6%
	（有効回答	29 人）	（県外）	3	10.3%
2）発達こころの問題	（有効回答	509 人）	・ある	88	17.3%
			・ない	421	82.7%
問5　相談先について	（有効回答	510 人）			
現在、子育てについて相談できる身近な人や			・ある	491	96.3%
各種機関はありますか			・相談できる人や機関はない	19	3.7%
問6　新型コロナウイルス感染症の流行による	（有効回答	509 人）	・全くなかった	389	76.4%
生活への支障			・あまりなかった	63	12.4%
			・ある程度あった	52	10.2%
			・非常にあった	5	1.0%

（4）中学生

					人数	割合
回答形式	（有効回答	479 人）	・紙		248	51.8%
			・オンライン		231	48.2%
性別	（有効回答	479 人）	・男子		226	47.2%
（平均年齢 14.0 歳）			・女子		253	52.8%
調査時住所別	（有効回答	479 人）	・県内		379	79.1%
			・県外		100	20.9%
問1 健康状態について	（有効回答	348 人）	・きわめて良好		117	33.6%
			・良好		111	31.9%
			・普通		115	33.0%
			・悪い		4	1.1%
			・きわめて悪い		1	0.3%
問2 身長と体重						
身長 男子	1年生（有効回答	50 人）		平均身長	158.8 cm	
	2年生（有効回答	53 人）		平均身長	163.1 cm	
	3年生（有効回答	51 人）		平均身長	169.2 cm	
女子	1年生（有効回答	52 人）		平均身長	153.9 cm	
	2年生（有効回答	64 人）		平均身長	155.9 cm	
	3年生（有効回答	79 人）		平均身長	155.7 cm	
体重 男子	1年生（有効回答	49 人）		平均体重	48.9 kg	
	2年生（有効回答	52 人）		平均体重	52.3 kg	
	3年生（有効回答	51 人）		平均体重	57.2 kg	
女子	1年生（有効回答	52 人）		平均体重	46.2 kg	
	2年生（有効回答	64 人）		平均体重	49.1 kg	
	3年生（有効回答	79 人）		平均体重	49.0 kg	
問3 普段の運動頻度について	（有効回答	350 人）	・ほとんど毎日している		110	31.4%
			・週に2～4回している		64	18.3%
			・週1回程度している		41	11.7%
			・ほとんどしていない		135	38.6%
問4 新型コロナウイルス感染症の流行による生活への支障（本人からみた支障）	（有効回答	350 人）	・全くなかった		173	49.4%
			・あまりなかった		118	33.7%
			・ある程度あった		55	15.7%
			・非常にあった		4	1.1%
問5 子どもの情緒と行動について						
1）SDQ	（有効回答	470 人）	平均総合得点		7.6 点	
	（有効回答	222 人）	平均総合得点 男子		8.1 点	
	（有効回答	248 人）	平均総合得点 女子		7.3 点	
			16点以上		45	9.6%
			（男子）		23	10.4%
			（女子）		22	8.9%
	（有効回答	373 人）	（県内）		35	9.4%
	（有効回答	97 人）	（県外）		10	10.3%
2）発達こころの問題	（有効回答	466 人）	・ある		71	15.2%
			・ない		395	84.8%
問6 相談先について	（有効回答	468 人）				
現在、子育てについて相談できる身近な人や各種機関はありますか			・ある		448	95.7%
			・相談できる人や機関はない		20	4.3%
問7 新型コロナウイルス感染症の流行による生活への支障（保護者からみた子どもの支障）	（有効回答	468 人）	・全くなかった		319	68.2%
			・あまりなかった		96	20.5%
			・ある程度あった		44	9.4%
			・非常にあった		9	1.9%

（5）一般

				人数	割合
回答形式	（有効回答 28,795 人）	・紙		21,473	74.6%
		・オンライン		7,322	25.4%
性別	（有効回答 28,795 人）	・男性		13,758	47.8%
（平均年齢 64.9 歳）		・女性		15,037	52.2%
調査時住所別	（有効回答 28,795 人）	・県内		24,674	85.7%
		・県外		4,121	14.3%
問1 健康状態について	（有効回答 26,514 人）	・きわめて良好		1,676	6.3%
		・良好		6,162	23.2%
		・普通		15,287	57.7%
		・悪い		3,103	11.7%
		・きわめて悪い		286	1.1%
16歳～39歳	（有効回答 2,878 人）	・きわめて良好		600	20.8%
		・良好		926	32.2%
		・普通		1,132	39.3%
		・悪い		194	6.7%
		・きわめて悪い		26	0.9%
40歳～64歳	（有効回答 7,119 人）	・きわめて良好		535	7.5%
		・良好		1,873	26.3%
		・普通		3,871	54.4%
		・悪い		760	10.7%
		・きわめて悪い		80	1.1%
65歳以上	（有効回答 16,517 人）	・きわめて良好		541	3.3%
		・良好		3,363	20.4%
		・普通		10,284	62.3%
		・悪い		2,149	13.0%
		・きわめて悪い		180	1.1%
問2 身長と体重					
身長 男性	（有効回答 13,614 人）		平均身長	166.6 cm	
女性	（有効回答 14,705 人）		平均身長	153.7 cm	
体重 男性	（有効回答 13,608 人）		平均体重	67.2 kg	
女性	（有効回答 14,734 人）		平均体重	54.5 kg	
BMI 男性	（有効回答 13,574 人）		平均BMI	24.2 kg/m^2	
女性	（有効回答 14,626 人）		平均BMI	23.1 kg/m^2	
問3 既往歴					
1)高血圧 （または、血圧が高い）	（有効回答 27,917 人）	・ない		14,605	52.3%
		・ある		13,312	47.7%
		（現在通院している）		12,098	91.7%
		（現在通院していない）		1,097	8.3%
2)糖尿病 （または、血糖が高い）	（有効回答 27,461 人）	・ない		22,486	81.9%
		・ある		4,975	18.1%
		（現在通院している）		4,567	93.0%
		（現在通院していない）		344	7.0%
3)精神疾患	（有効回答 27,468 人）	・ない		24,760	90.1%
		・ある		2,708	9.9%
		（現在通院している）		1,991	74.9%
		（現在は改善しているため、通院はしていない）		436	16.4%
		（現在通院していない）		232	8.7%
4)過去1年間の健診受診	（有効回答 27,908 人）	・はい		21,512	77.1%
		・いいえ		6,396	22.9%

				人数	割合
問4 睡眠満足度		（有効回答 26,361 人）	・満足している	10,219	38.8%
			・少し不満	12,620	47.9%
			・かなり不満	3,113	11.8%
			・非常に不満か、全く眠れなかった	409	1.6%
問5 普段の運動頻度について		（有効回答 28,330 人）	・ほとんど毎日している	4,775	16.9%
			・週に2～4回している	7,632	26.9%
			・週1回程度している	5,448	19.2%
			・ほとんどしていない	10,475	37.0%
	県内	（有効回答 24,255 人）	・ほとんど毎日している	4,176	17.2%
			・週に2～4回している	6,569	27.1%
			・週1回程度している	4,638	19.1%
			・ほとんどしていない	8,872	36.6%
	県外	（有効回答 4,075 人）	・ほとんど毎日している	599	14.7%
			・週に2～4回している	1,063	26.1%
			・週1回程度している	810	19.9%
			・ほとんどしていない	1,603	39.3%
問6 生活状況について					
1)現在の居住地		（有効回答 28,419 人）	・福島県	24,111	84.8%
			・福島県以外	4,308	15.2%
2)現在一人暮らしですか		（有効回答 28,396 人）	・はい	5,341	18.8%
			・いいえ	23,055	81.2%
3)現在仕事についていますか		（有効回答 28,335 人）	・はい（仕事をしている）	11,444	40.4%
			・いいえ（学生、専業主婦・主夫を含む）	16,891	59.6%
問7 喫煙		（有効回答 27,351 人）	・吸ったことがない	15,569	56.9%
			・やめた	8,198	30.0%
			・吸っている	3,584	13.1%
		（有効回答 13,277 人）	（男性）	2,757	20.8%
		（有効回答 14,074 人）	（女性）	827	5.9%

			人数	割合
問8 飲酒について				
1)飲酒	(有効回答 27,179 人)	・飲まない、または、ほとんど飲まない	14,623	53.8%
		・やめた	1,542	5.7%
		・飲む(月1回以上)	11,014	40.5%
2)飲酒に関する経験(CAGE)				
1. 飲酒量を減らさなければならないと感じたことがありますか	(有効回答 10,429 人)	・いいえ	7,672	73.6%
		・はい	2,757	26.4%
2. 他人があなたの飲酒を非難するので気にさわったことがありますか	(有効回答 10,419 人)	・いいえ	9,806	94.1%
		・はい	613	5.9%
3. 自分の飲酒について悪いとか申し訳ないと感じたことがありますか	(有効回答 10,418 人)	・いいえ	9,454	90.7%
		・はい	964	9.3%
4. 神経を落ち着かせたり、二日酔を治すために、「迎え酒」をしたことがありますか	(有効回答 10,416 人)	・いいえ	9,879	94.8%
		・はい	537	5.2%
		2点以上	1,126	10.9%
	(有効回答 7,181 人)	(男性)	935	13.0%
	(有効回答 3,182 人)	(女性)	191	6.0%
	(有効回答 447 人)	(男性)(20歳～39歳)	55	12.3%
	(有効回答 2,056 人)	(40歳～64歳)	318	15.5%
	(有効回答 4,678 人)	(65歳以上)	562	12.0%
	(有効回答 492 人)	(女性)(20歳～39歳)	44	8.9%
	(有効回答 1,292 人)	(40歳～64歳)	98	7.6%
	(有効回答 1,398 人)	(65歳以上)	49	3.5%
	(有効回答 6,245 人)	(男性)(県内)	799	12.8%
	(有効回答 936 人)	(県外)	136	14.5%
	(有効回答 2,550 人)	(女性)(県内)	140	5.5%
	(有効回答 632 人)	(県外)	51	8.1%
問9 全般的な精神健康度(K6)について				
	(有効回答 25,285 人)	平均点	3.9 点	
	(有効回答 12,217 人)	平均点 男性	3.7 点	
	(有効回答 13,068 人)	平均点 女性	4.2 点	
		13点以上	1,351	5.3%
	(有効回答 12,217 人)	(男性)	624	5.1%
	(有効回答 13,068 人)	(女性)	727	5.6%
	(有効回答 2,872 人)	(16歳～39歳)	281	9.8%
	(有効回答 7,053 人)	(40歳～64歳)	513	7.3%
	(有効回答 15,360 人)	(65歳以上)	557	3.6%
	(有効回答 21,650 人)	(県内)	1,095	5.1%
	(有効回答 3,635 人)	(県外)	256	7.0%

				人数	割合
問10 新型コロナウイルス感染症の流行について					
生活への支障	（有効回答	27,621 人）	・全くなかった	14,622	52.9%
			・あまりなかった	7,259	26.3%
			・ある程度あった	4,850	17.6%
			・非常にあった	890	3.2%
男性	（有効回答	13,321 人）	・全くなかった	7,041	52.9%
			・あまりなかった	3,545	26.6%
			・ある程度あった	2,317	17.4%
			・非常にあった	418	3.1%
女性	（有効回答	14,300 人）	・全くなかった	7,581	53.0%
			・あまりなかった	3,714	26.0%
			・ある程度あった	2,533	17.7%
			・非常にあった	472	3.3%
16歳～39歳	（有効回答	3,249 人）	・全くなかった	2,147	66.1%
			・あまりなかった	496	15.3%
			・ある程度あった	502	15.5%
			・非常にあった	104	3.2%
40歳～64歳	（有効回答	7,371 人）	・全くなかった	4,049	54.9%
			・あまりなかった	1,654	22.4%
			・ある程度あった	1,373	18.6%
			・非常にあった	295	4.0%
65歳以上	（有効回答	17,001 人）	・全くなかった	8,426	49.6%
			・あまりなかった	5,109	30.1%
			・ある程度あった	2,975	17.5%
			・非常にあった	491	2.9%
K6 13点以上	（有効回答	19,409 人）	支障なし：全くなかった/あまりなかった	715	3.7%
	（有効回答	5,053 人）	支障あり：ある程度あった/非常にあった	561	11.1%
支障を受けた出来事	※複数回答		・自分の健康状態の悪化	4,433	－
			・家族の健康状態の悪化	3,308	－
			・家族の介護	1,312	－
			・配偶者・パートナーとの離婚・離別	123	－
			・家族との別居	268	－
			・家族との死別	709	－
			・家族以外の大切な人との死別	1,294	－
			・就職・転職	230	－
			・失業	172	－
			・退職	221	－
			・経済状況の悪化	2,254	－
			・対人関係のトラブルの増加	664	－
			・その他の重大な出来事	743	－

			人数	割合
問11　放射線の健康影響				
1)放射線の健康影響についての認識				
	（有効回答　25,921 人）			
現在の放射線被ばくで、次世代以降の人（将来生まれてくる自分の子や孫など）への健康影響がどれくらい起こると思いますか		・可能性は極めて低い	7,770	30.0%
		・可能性は低い	13,247	51.1%
		・可能性は高い	4,168	16.1%
		・可能性は非常に高い	736	2.8%
	県内　（有効回答　22,204 人）	・可能性は極めて低い	6,684	30.1%
		・可能性は低い	11,506	51.8%
		・可能性は高い	3,452	15.5%
		・可能性は非常に高い	562	2.5%
	県外　（有効回答　3,717 人）	・可能性は極めて低い	1,086	29.2%
		・可能性は低い	1,741	46.8%
		・可能性は高い	716	19.3%
		・可能性は非常に高い	174	4.7%
2)日常生活への支障	（有効回答　26,119 人）	・しばしばあった	381	1.5%
この1か月間に、放射線に対する不安が原因で、日常生活に支障をきたすことはどれくらいありましたか		・時々あった	1,363	5.2%
		・まれにあった	2,949	11.3%
		・1度もなかった	21,426	82.0%
問12　相談先について	（有効回答　28,206 人）			
こころや身体の問題が生じた場合、相談できる身近な人や各種機関はありますか		・ある	23,416	83.0%
		・相談できる人や機関はない	4,790	17.0%